

# 生活クラブ運動グループ 2019 年度福祉事業実績報告書

2020 年 12 月

参加型システム研究所・参加型福祉研究センター

# 2019 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告書・目次

<b>I. 2019 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告</b>	<b>p 3</b>
<b>1. 2019 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績</b>	
<b>1) 調査概要</b>	
(1) 目的	
(2) 調査の基本設計	
(3) 調査の概要	
①福祉事業実績調査	
②総合事業調査	
③居場所・サロン調査	
④コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査	
<b>2) 生活クラブ運動グループ福祉事業実績</b>	<b>p 5</b>
(1) 全体状況	
(2) 介護保険事業の事業種別内訳	
(3) 訪問系サービス時間数と事業高	
(4) 利用者状況	
(5) 運営状況	
(6) 生活支援サービス（自主事業）の状況	
(7) まとめ	
<b>2. 総合事業調査</b>	<b>p 11</b>
1) 調査概要	
2) 訪問型の概要	
3) 通所型の概要	
4) 課題整理	
<b>3. 居場所・サロン調査</b>	<b>p 18</b>
1) 調査概要	
2) 団体・部門別開催状況	
3) 課題整理	
<b>4. コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査</b>	<b>p 23</b>
1) 調査概要	
2) 生活クラブ運動グループ間や市民ボランティア等との地域連携	
3) 政策提案活動について	
4) 課題整理	
<b>5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内 6 生協と生活クラブ運動グループとの実績比較</b>	<b>P26</b>
1) 日本生協連	

- 2) 県内6生協
- 3) 生活クラブ運動グループ
- 4) 課題整理

## Ⅱ. 2021年度福祉事業・活動計画の検討に向けて ー提言ー

P29

あらためて、「居場所」づくりにチャレンジしよう！

- 提言資料

## <資料編>

P39

## I. 2019 年度生活クラブ運動グループ事業実績報告

### 1. 2019 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告

#### 1) 調査概要

##### (1) 目的

- ①生活クラブ運動グループ諸団体の 2019 年度福祉事業実績の取りまとめを行い、参加型福祉の全体像を把握し、その趨勢や変化、特徴などを整理して、会員団体による参加型福祉の点検・評価に寄与していくことを目指します。
- ②生活クラブ運動グループ諸団体による参加型福祉は、制度事業とあわせて生活支援サービス（コミ・オプ）事業を展開していることが最大の特徴です。少子・高齢化の進展・生産年齢人口の減少、そして制度の限界が顕著になり、格差社会が広がる中で、地域社会では生活支援ニーズの増加が見込まれます。生活支援サービス（コミ・オプ福祉）に着目し、その現状を把握し分析を通じて点検・評価につなげ、生活クラブ運動グループによる福祉事業の現状と課題を整理し、会員団体による対応策の検討に寄与していくことを目指します。

##### (2) 調査の基本設計

###### ①事業実績集約の対象組織

生活クラブ生協、福祉クラブ生協、（社福）いきいき福祉会、W.Co 連合会の 4 団体。「居場所・サロン」、「総合事業」調査には、W.Co 協会を加えるとともに WE21 ジャパンにも協力依頼して実施します。

###### ②調査対象期間

2019 年 4 月～2020 年 3 月までの 2019 年度実績について調査します。

###### ③調査の種類

- ・事業種別調査（保育・子育て支援含む）
- ・総合事業調査
- ・居場所・サロン調査
- ・コミ・オプ福祉の地域連携に関する調査
- ・日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内 6 生協との実績比較

###### ④2019 年度調査の主な変更点

- ・「総合事業」においては一般介護予防事業の取組を具体的に記載できるように変更し、「コミ・オプ福祉の地域連携」調査では、項目ごとに記載することにより実態把握の精度を上げていくために、調査項目を一部見直しました。

##### (3) 調査の概要

###### ①福祉事業実績調査

目 的：基本となる事業を、制度事業、コミ・オプ事業、障害福祉、子育て関連に区分し、特にコミ・オプ事業に着目し全体像の把握を行いました。

対 象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、（社福）いきいき福祉会、W.Co 連合会の 4 団体。

事業業種数：対象とする事業所を全て網羅しました。いきいき福祉会は食事サービスの廃止、W.Co 連合会では保育、食事、家事介護 W.Co の脱退・解散等によって調査数が減少し、合計 371 業種でした。

<事業業種数>

	生活クラブ生協	福祉クラブ生協	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計
2019年度	22	142	32	175	371
2018年度	22	144	34	178	378

\*事業により介護保険、自主事業等に分かれているため延べ事業業種数を記載

集約方法：生活クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、各組織の本部を通じて集約。福祉クラブ生協は総代会資料、W.Co 連合会は「2020 年度版神奈川ワーカーズ・コレクティブ実態調査報告書」のデータを用いました。

②総合事業調査

目的：総合事業は 2017 年度より本格実施されましたが、自治体により実施事業に差異が生じています。介護予防をはじめ、より柔軟なニーズへの対応を目指すことが総合事業のそもそもの本旨ですが、自治体の実施状況にバラツキが大きく、2018 年度調査では、運動グループにおいても総合事業の多様なサービスのうち、緩和した基準によるサービス A (通所型・訪問型) や「住民主体による支援」(住民主体の自主活動として行う生活援助等) と位置付けられている取り組み (総合事業サービス B : 通所型・訪問型、その他生活支援サービス) は少しずつ進んでいるものの、多くの課題が出されていました。2019 年度は自治体の一般介護予防事業の実態把握をすすめるために、調査項目の一部を見直しました。

対象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福) いきいき福祉会、在宅福祉関連の W.Co (家事介護、デイサービス、移動 W.Co)、W.Co 協会

集約方法：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：全 56 組織に依頼し、46 組織から回答。

(生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は各 1 組織としてカウント)

③居場所・サロン調査

目的：2018 年度調査では、調査数の増加により実態把握が進み、全体で企画数が 110 に広がっていることが確認できました。中でも、福祉クラブ生協や単一 W.Co の企画増により、企画数が 11 増えました。2019 年度は居場所の広がりや連携内容等について継続的に実施状況を把握し、課題の共有化を図り、市民参加の促進につなげていくことを目指しました。

対象：福祉クラブ生協、(社福) いきいき福祉会、在宅福祉関連(居宅介護支援事業除く)及び生活文化部門 W.Co、W.Co 協会

\*生活リハビリクラブ (生活クラブ) 委託 W.Co の企画は、W.Co 連合会の実績に含む。

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会については、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：全 91 組織に調査依頼し、88 組織から回答。W.Co は 88 組織に依頼し 85 組織から回答。

④コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査

目的：生活クラブ運動グループ諸団体では、これまでの参加型福祉の実績をもとに、地域に根ざ

した支えあい・たすけあいのしくみをいかに豊富に生み出していくことができるかを課題としてきました。前回の調査からは、地域の中でコミ・オブ福祉を中心に様々な連携が進められていることが見えてきました。増大する地域ニーズに対応するにはさらなる運動グループによる地域連携を生み出し、地域へのメッセージ力を強めていくことが課題となっています。コミオブ福祉を中心としたさらなる地域連携等の活動につなげていくことを目指し、2019年度調査では、回答欄を会議やイベント等の活動連携やボランティアの受け入れなどの項目ごとに記載できるようにし、より具体的な活動の状況把握ができるようにしました。

対象：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連の W.Co(居宅介護支援除く)、と暮らしまち W.Co の一部、W.Co 協会

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会については、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：調査は 87 組織に依頼し、44 組織から回答。

## 2) 生活クラブ運動グループ福祉事業実績

### (1) 全体状況

<団体事業種別実績一覧>

<表 1> (単位:円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
福祉事業	利用者人数	1,193	7,736	1,371	4,716	15,016	85.0%	96.6%
	メンバー数	291	2,586	486	1,657	5,020	90.6%	101.9%
	事業高(円)	521,484,000	1,341,998,000	1,632,919,000	1,548,163,700	5,044,564,700	86.0%	105.2%
	前年比	108.3%	100.7%	111.5%	102.0%	105.2%		
	構成比	10.3%	26.6%	32.4%	30.7%	100.0%		
子育て関連事業	利用者人数	29	1,574		1,043	2,646	15.0%	111.8%
	メンバー数	27	232		261	520	9.4%	91.1%
	事業高(円)	69,600,000	49,944,000		698,274,000	817,818,000	14.0%	100.2%
	前年比	105.7%	98.5%		99.8%	100.2%		
総計	利用者人数	1,222	9,310	1,371	5,759	17,662	100.0%	98.6%
	メンバー数	318	2,818	486	1,918	5,540	100.0%	100.8%
	事業高(円)	591,084,000	1,391,942,000	1,632,919,000	2,246,437,700	5,862,382,700	100.0%	104.5%
	前年比	107.9%	100.6%	111.5%	101.3%	104.5%		
	構成比	10.1%	23.7%	27.9%	38.3%	100.0%		

\*メンバー数：生活クラブ、福祉クラブ、W.Co連合会はW.Coメンバー数、いきいき福祉会はアルバイト・派遣を含む職員数

\*構成比：総計に占める割合

- ・2019年度の生活クラブ運動グループ年間総事業高は約 58.6 億円であり、福祉事業（自主事業含む）が伸長し、子育て関連事業は前年維持でした。総計は前年比 104.5%の実績でした。事業種別構成比は、福祉事業 86%、子育て関連事業 14%となっています。
- ・福祉事業では、運動グループ全組織で伸長していますが、いきいき福祉会の前年比 111.5%の大きな伸長が特徴的です。いきいき福祉会“ラポール藤沢”の善行への移転(2019年4月)に伴う定員増や退去者が少なく稼働率が高かったこととともに、経営努力を重ねて職員、W.Co が一丸となって事業・経営に当たってきた成果と言えるでしょう。生活クラブの前年比 108.3%の伸長は、小規模多機能型居宅介護事業や生活リハビリクラブ橋本で、利用者登録数が増加し、事業の安定化が要因と言えます。
- ・子育て関連事業は生活クラブで 105.7%と伸長しています。2018年度分の茅ヶ崎市からの補助金清算分(270万円)が事業高に計上されています。

<福祉事業種別内訳>

<表 2> (単位: 円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
公的制度事業	利用者人数	1,188	3,124	1,340	3,031	8,683	57.8%	100.6%
	メンバー数	291	1,343	428	1,153	3,215	64.0%	97.9%
	事業高(円)	521,484,000	894,883,000	1,587,839,000	860,086,700	3,864,292,700	76.6%	105.7%
	前年比	108.3%	99.9%	112.5%	99.3%	105.7%		
自主事業 (制度外事業)	利用者人数		4,551	27	1,464	6,042	40.2%	91.3%
	メンバー数		701	33	504	1,238	24.7%	101.4%
	事業高(円)		423,887,000	38,892,000	601,669,000	1,064,448,000	21.1%	96.5%
	前年比		101.8%	81.9%	106.8%	103.6%		
障害福祉 サービス	利用者人数	5	61	4	221	291	1.9%	97.0%
	メンバー数	訪問に含む	542	25	訪問に含む	567	11.3%	134.7%
	事業高(円)	訪問に含む	23,228,000	6,188,000	86,408,000	115,824,000	2.3%	95.6%
	前年比		114.0%	117.3%	98.1%	101.9%		
福祉事業計	利用者人数	1,193	7,736	1,371	4,716	15,016	85.0%	96.6%
	メンバー数	291	2,586	486	1,657	5,020	28.4%	101.9%
	事業高(円)	521,484,000	1,341,998,000	1,632,919,000	1,548,163,700	5,044,564,700	86.0%	105.2%
	前年比	108.3%	100.7%	111.5%	102.0%	105.2%		
	構成比	10.3%	26.6%	32.4%	30.7%	100.0%		

- 福祉事業年間総事業高は約 50.5 億円であり、内訳は公的制度事業約 38 億 6 千万円、自主事業（制度外）10 億 6 千万円、障害総合支援事業 1 億 1 千万円です。福祉総事業高は運動グループ全体で前年比 105.2%の伸長でした。事業種別構成比は、公的制度事業 76.6%、自主事業 21.1%、障害福祉サービス 2.3%です。
- 公的制度事業は、いきいき福祉会が前年比 112.5%と大きく伸長しているのが特徴です。前述のように施設系の伸長による経営努力が要因です。
- 自主事業では、W.Co 連合会が前年比 106.8%伸長し、なかでも、施設系の食事サービスの提供数が増えています。
- 障害福祉サービスは、福祉クラブ、いきいき福祉会で前年実績を上回り、運動グループ全体で伸長しました。

(2) 介護保険事業の事業種別内訳（行政委託事業及び障害福祉サービスを除く）<表 3> (単位: 円)

生活クラブ運動グループ	居宅サービス	施設サービス	地域密着型事業	福祉用具	合計	構成比	前年比
生活クラブ	443,049,000	0	36,708,000		479,757,000	13.1%	108.3%
福祉クラブ	794,394,000	0	35,104,000	40,233,000	869,731,000	23.7%	100.3%
(社福)いきいき福祉会	367,246,000	930,678,000	198,469,267	0	1,496,393,267	40.8%	118.7%
神奈川W.Co連合会	778,109,000		45,733,000	0	823,842,000	22.4%	100.3%
合計	2,382,798,000	930,678,000	316,014,267	40,233,000	3,669,723,267	100.0%	108.2%
前年比	101.2%	129.1%	114.4%	101.9%	108.2%		
構成比	64.9%	25.4%	8.6%	1.1%	100.0%		

\* 居宅サービス:訪問介護・通所介護(総合事業含む)、居宅介護支援、短期入所

\* 施設サービス:特別養護老人ホーム

\* 地域密着サービス:グループホーム、認知症対応型通所、サテライト特養、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護  
小規模多機能型居宅介護

- 社会保障制度改革推進法(2012年)の制定を受け、介護給付費削減に向け軽度者(要支援1・2)は、従来の介護給付から予防給付の対象に変わり、「自立支援」の促進に向け各自治体が事業主体である「総合事業」や住民主体の地域支援事業などの、新しい仕組み作りが進められてきています。そうした中、2019年度の生活クラブ運動グループ介護保険総事業高は、前年比 108.2%であり、また、4 団体全てで前年実績を上回りました。
- 施設サービスでは、いきいき福祉会ラポール藤沢の善行への移転に伴い定員も増え、また、退去者が

少なく稼働率が高かったこと等から、前年比 129.1%と大きく伸長しました。

- ・また、小規模多機能型居宅介護事業所（生活クラブ・福祉クラブ）の登録者増を要因として、地域密着型事業が 114.4%と前年を大きく上回っています。地域密着型事業は、これまでは「グループホーム」や「サテライト特養」などが主でしたが、小規模多機能型居宅介護事業所の経営の安定化により、事業高構成比は年々高まり全体の 8.6%となりました。
- ・訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業などの居宅サービスの事業高計は 23.8 億円(前年比 101.2%)で、中でも通所介護事業（前年比 103.6%）が伸びています。居宅サービスは介護保険事業全体の約 64.9%を占めており、在宅生活を支えることを基本とする、参加型福祉の特徴が現れています。

\*小規模多機能型居宅介護事業の伸長の要因

運動グループ内には、生活クラブ、福祉クラブ併せて 3つの事業所があります。これまで利用が低調でしたが、2019 年度調査では、登録者数が増え、事業高が伸長しました。

要因としては、小規模多機能型居宅介護施設（以下、小多機）で働いた経験を持つ介護福祉士や介護支援専門員等の資格を持つ専門職を組織的に一定の期間配置し、地域とのつながり、信頼と W.Co のマネジメント力の強化を図ってきたことです。

“小規模多機能型居宅介護”は新しい介護サービスであるため、その特色あるサービスの地域への認知を高めるとともに、地域で孤立しがちな人や難しいケアの受け入れなどを行い、信頼を得ることが大事です。また、W.Co メンバーによるサービス機能や施設の役割についての理解は欠くことができません。そして、W.Co のマネジメント力と実践力を高めていく為には、専門職とともに日々の活動を通じてコミュニケーションを深め、伴走型の支援を行っていく必要があると言えます。

(3) 訪問系サービス時間数と事業高

<表 4>

サービス分類	実績(円)	前年比	構成比	制度外事業と制度内事業の内訳	実績(h)	前年比	構成比	制度外事業と制度内事業の内訳	時間当たり単価(円)
家事介護(自主)	125,159,000	89.8%	12.1%	12.1%	86,284	86.6%	25.5%	25.5%	1,451
介護保険(訪問)	789,960,000	103.6%	76.1%	87.9%	206,648	97.6%	61.1%	74.5%	3,823
障害福祉サービス	115,824,000	101.9%	11.2%		41,596	124.7%	12.3%		2,784
行政委託	7,444,000	104.9%	0.7%		3,945	111.4%	1.2%		1,887
合計	1,038,387,000	101.6%	100.0%	100.0%	338,473	97.2%	100.0%	100.0%	3,068

\*訪問系サービスは家事介護(自主)、介護保険(介護給付・総合事業)、障害福祉サービス、行政委託(産後支援等)

- ・訪問系サービスの総事業高は前年比 101.6%となっています。その内、自主事業(制度外)と制度事業(介護保険、行政委託、障害福祉サービス)の割合は 12 : 88(前年は 14 : 86)、活動時間の割合は 26 : 74 (前年は 29 : 71) で圧倒的に制度事業の割合が高くなっています。事業高もサービス時間も、年々制度事業の割合が高くなり、自主事業は低下を続けています。
- ・2018 年度調査では、介護保険事業の給付抑制が一層進み経営環境が厳しさを増す中で、家事介護事業(自主)は前年実績を維持していましたが、今回の調査では家事介護(自主)は前年を下回り、制度事業(介護保険、障がい福祉サービス、行政委託)が伸長しています。
- ・1 時間当りの報酬単価(事業高)は、制度事業の訪問介護が 3,823 円、障害福祉サービスが 2,784 円、行政委託(産後支援等)が 1,887 円であり、訪問介護の単価が一番高くなっています。自主事業の家事介護の実績は前年とほぼ変わらず 1,451 円です。

\*家事介護(自主)の 6 年間の推移

事業高では、2015、2016 年度は、2012 年の社会保障制度改革推進法の制定を受け介護保険法が改定(2015 年)され、軽度者が介護給付から予防給付へ移行することにより給付削減が図られた影響を受け、落ち込みました。2017 年度には、地域で「制度あって、介護なし」という事態が広がらないよう、責



任ある対応を進めた成果が見られ、前年実績を上回り、2018年度は前年を維持しました。しかしサービス提供時間数は漸減を続けています。

\*今回調査の家事介護（自主）の前年比減少（89.8%）については、さまざまな要因が複雑に影響していると捉えられます。介護保険では、保険料に加えて、サービスを受けると基本1割が本人負担ですが、それに比べ自主事業は制度外なのでどうしても自己負担額が多くなるため(表6利用者減)利用を抑制している、同様の理由から自費負担が発生しないようにケアマネジャーが積極的に利用を勧めない等により依頼が減少していることも考えられます。また、W.Co内においては、介護保険サービス事業者として継続的なサービス提供と事業の安定が求められ、自主事業に十分な人員を配置できない経営上の問題を含む事情等が要因として考えられます。

家事介護(自主)事業の推移 <表5>

年度	事業高(円)	前年比	時間数(h)	前年比
2014	171,430,819	—	139,749	—
2015	167,425,838	97.7%	133,217	95.3%
2016	128,294,076	76.6%	104,573	74.8%
2017	140,308,053	109.4%	103,545	74.1%
2018	139,419,263	99.4%	99,608	96.2%
2019	125,159,000	89.8%	86,284	86.6%

(4) 利用者状況（利用者の登録データ集計）

<表6>

サービス分類	サービス種類	利用者登録人数 (3月末)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	1779	86.7%	11.8%	
	食事サービス	1282	99.8%	8.5%	
	移動サービス	2479	92.1%	16.5%	
	居場所	317	83.2%	2.1%	
	その他	63	90.0%	0.4%	成年後見等
	住まい生活支援	95	96.0%	0.6%	住まい支援(特養・有料)
	賃貸事業	27	75.0%	0.2%	ケア付き住宅
	小計	6042	91.3%	40.2%	
介護保険	訪問介護	2,731	105.9%	18.2%	
	通所介護	1,054	95.6%	7.0%	
	居宅介護支援	3,579	100.6%	23.8%	
	短期入所	116	90.6%	0.8%	
	施設サービス	189	141.0%	1.3%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	153	122.4%	1.0%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	777	82.0%	5.2%	地域包括支援センター
	福祉用具	0	#DIV/0!	0.0%	人数の入力無し
障害福祉サービス	291	97.0%	1.9%		
行政委託	84	152.7%	0.6%	見守り、ささえあいセンター、就労準備支援等	
小計	8,974	100.5%	59.8%		
合計		15,016	96.6%	100.0%	

- ・利用者の割合は、自主事業約40.2%、介護保険事業59.8%（内、障害者総合支援と行政委託2.5%）となっています。（2018年自主：42.6%、介護保険55.1%、障害者総合支援と行政委託2.3%）
- ・自主事業全般で利用者が減少し、介護保険事業の施設サービスと地域密着事業で増加傾向ですが、トータルでは前年比を割っています。

## (5) 運営状況(事業種別メンバー数)

&lt;表7&gt;

サービス分類	サービス種類	メンバー数(人)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	25	#DIV/0!	0.5%	自主事業のみのW.Co
	食事サービス	380	103.0%	7.6%	
	移動サービス	586	93.0%	11.7%	
	居場所	32	94.1%	0.6%	
	その他	39	95.1%	0.8%	
	住まい生活支援	172	121.1%	3.4%	住まい支援(特養・有料)
	賃貸事業	4	80.0%	0.1%	ケア付き住宅
	小計	1238	101.4%	24.7%	
介護保険	訪問介護	1,713	92.1%	34.1%	
	通所介護	759	97.1%	15.1%	
	居宅介護支援	193	97.5%	3.8%	
	短期入所	56	233.3%	1.1%	
	施設サービス	205	125.8%	4.1%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	211	114.1%	4.2%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	17	89.5%	0.3%	地域包括支援センター
	福祉用具	51	98.1%	1.0%	
障害福祉サービス	障害福祉サービス	567	134.7%	11.3%	訪問介護と兼務のため入力無し
行政委託	行政委託	10	#DIV/0!	0.2%	見守り、ささえあいセンター、就労準備支援
	小計	3,782	102.1%	75.3%	
合計		5,020	101.9%	100.0%	

- ・2019年度のメンバー数(従事者)は全体で前年比101.9%であり自主事業、制度事業とも増加しています。主に、住まい型生活支援、短期入所、施設サービスをはじめとする施設系で増加傾向です。
- ・自主事業と介護保険等の制度事業のメンバー割合は、25:75で、前年とほぼ変わりありません。
- ・サービス別で見ると、訪問系(訪問介護と障害者総合支援・家事介護)で活動するメンバーは45.9%と半数近くを占めていることから、制度内と制度外を兼務しているメンバーの割合の高さが読み取れます。次いで通所事業15.1%、移動サービス11.7%であり、前年同様の傾向です。

## (6) 生活支援サービス(自主事業)の状況

&lt;表8&gt;

## ①全体状況

- ・自主事業(コミ・オプ福祉)の事業種別実績内訳では、食事サービスが約5億円で全体の約6割を占めています。次いで移動サービス1億5千万円、家事介護1億2千万円と続きます。
- ・家事介護、移動サービスを除き他は前年を上回りました。食事サービスでは高齢者施設等の食数増、居場所は福祉クラブのうえるびィーサロン会員拡大による伸長です。

中分類	小分類	事業高	前年比	構成比
自主事業 (単位:円)	家事介護	125,159,000	89.8%	15.7%
	食事サービス	500,934,000	109.2%	62.9%
	移動サービス	146,768,859	99.6%	18.4%
	居場所	2,659,000	119.7%	0%
	福祉用具	20,457,000	99.9%	2.6%
	合計	795,977,859	103.6%	100%

\* 住まい生活支援、賃貸事業、成年後見事業は含まず

\* 食事、移動には行政委託含まず

\* 福祉クラブの居場所は、サロン事業のみ

居場所は福祉クラブのうえるびィーサロン会員拡大による伸長です。

## ②食事サービスの状況

&lt;表9&gt;

食事サービス (単位:円)	総事業高	総事業高内訳		配食数内訳		配食合計数	配食数前年比
		自主事業	行政委託	自主事業	行政委託		
福祉クラブ	177,964,000	152,812,000	25,152,000	89,973	40,004	129,977	106.8%
いきいき福祉会	8,455,000	8,455,000	0	0	0	0	0.0%
W.Co連合会	346,936,700	339,667,000	7,269,700	51,277	9,378	60,655	46.7%
合計	533,355,700	500,934,000	32,421,700	141,250	49,382	190,632	75.3%
前年比	104.9%	109.2%	65.1%	70.5%	93.2%	75.3%	
構成比	100.0%	93.9%	6.1%	74.1%	25.9%	100.0%	

- ・食事サービス(配食・施設食事提供・ケータリング・惣菜等)は19団体が実施しており、総事業高は

約 5 億 3 千万円です。その内、行政委託を受けている団体は 10 団体で、受託事業高は約 3 千 2 百万円です。

- 行政受託事業(配食)前年比は引き続き低下していますが、自主事業（配食・施設食・惣菜等）前年比は 109.2%と伸長しているのが特徴です。自主事業の伸長の要因は、各組織で利用者のロコミや、チラシの配布、地域での他団体との連携等によるものです。
- 自主事業の伸びは、入居施設やデイサービスなどへの食事の提供によるものが大きく、地域に密着した W.Co 事業・活動への信頼と共感が高まっているものと考えられます。地域での信頼と共感を基に、他団体、他組織との連携を強め受託事業を伸ばしていくことが、今後の事業拡大の一つの方法であると考えられます。

### ③移動サービスの状況

<表 10>

- 移動サービスの総事業高は 29 団体で約 1 億 5 千 9 百万円です。その内、補助・助成を 25 団体が受けていて、その額は 1,200 万円でした。
- 自主事業の前年対比は 99.6%とほぼ前年並みですが、助成・補助事業は 110.8%と伸長しています。
- 助成・補助による収入の総事業高に占める割合は、7.7%で前年比 0.7 ポイント上昇しました。助成・補助を受けている事業所の内、海老名・座間市の 2 事業所を除いた助成額は、年間 10 万円～70 万円程度となっています。
- 助成・補助事業が伸長しているのは、海老名市の移動 W.Co が、“海老名市福祉タクシー券”を利用できる福祉有償運送団体として登録し活動している事によります。海老名市では、社協と W.Co の 2 事業所だけが登録団体となっています。
- 本調査ではこれまで移動サービスのセーフティーネットとしての役割や価値に対する社会的認知・位置づけが、高まっていないと評価してきました。しかし、若干ですが県央を中心として助成・補助事業が伸びています。一方、これまで課題として出されていた、ドライバー不足や高齢化、持ち込み車両の使用、事故時の損害補償の問題等から、移動 W.Co の解散が複数あります。他団体でも、ニーズは多いが、病院の付き添いと生活上のための外出のどちらが大事なのかの判断は困難であり、ニーズはあるが対応しきれない等の理由から休止しているところもあります。
- 市民のニーズに即した自治体の施策を実現するために、利用者の声を事業者として行政に届け、自治体職員との連携を高めていく必要があるでしょう。

移動サービス (単位:円)	総事業高	事業高内訳		福祉有償 運送件数	福祉有償運送 件数前年比
		自主事業	助成・補助		
W.Co連合会	120,164,245	112,456,859	7,707,386	47,212	93.9%
福祉クラブ	38,821,000	34,312,000	4,509,000	20,054	99.2%
合計	158,985,245	146,768,859	12,216,386	67,266	98.4%
構成比	100.0%	92.3%	7.7%		
前年比	100.4%	99.6%	110.8%	98.4%	

### (7) 課題整理

- 福祉事業の総事業高は、生活クラブ、いきいき福祉会の制度事業の伸長により前年を上回りました。自主事業も前年実績を維持していますが、食事サービスが牽引しています。また、利用者数は制度事業で増加傾向です。メンバー（従事者）数は自主・制度事業共に増加しています。
- 訪問系サービスの事業高計<表 4>は 101.6%と前年を上回りましたが、家事介護（自主）は前年を大きく割り込みました。この間、介護給付費の抑制(従前の要支援 1・2 を介護給付から予防給付へ)等の影響により制度事業は低下傾向でしたが、今回、訪問介護と行政委託を中心に前年実績を上回りました。しかし、家事介護（自主）は、P2-7にあるように、様々な要因・課題を抱えて実績を下げています。制度事業だけで安心して住み暮らし続けることは困難なことです。利用者の自立的生活を支えるたすけあい(互助)を基盤とする「参加型福祉」による地域づくりの一環としてこの問題を捉え、課

題を整理していくことが求められています。

## 2. 総合事業調査

### 1) 調査概要

<表 11>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	W.Co協会	計	前年比
送付事業所数	6	29	4	52	1	92	80.7%
回答事業所数	6	29	4	42	1	82	117.1%
前年比	100.0%	100.0%	100.0%	140.0%	100.0%	117.1%	
訪問型実施事業数	6	36	2	36	—	80	100.0%
通所型実施事業数	7	8	2	8	1	25	108.7%
一般介護予防等実施事業数	1	0	1	2	0	4	400.0%
実施事業数計	14	44	4	46	1	108	103.8%

- ・2019年度は、W.Co 連合会所属 W.Co でこれまで総合事業取組みのない部門への調査票配布は取りやめ、配布数を絞って調査しました。配布数は少なかったものの、これまで回答がなかった事業未実施 W.Co から回答があり、回答数計は前年の 70 事業所より増加し 82 事業所となりました。
- ・実施事業数（訪問型：現行相当、サービス A 等）は訪問型 80 事業、通所型 25 事業、一般介護予防事業を含めた自治体事業は 4 事業で、実施事業数は 104.8%と前年を上回りました。

### 2) 総合事業(通所型サービスと訪問型サービス)と介護保険給付事業(通所介護・訪問介護)

- ・総合事業の総事業高(生活クラブ、W.Co 連合会、いきいき福祉会)は 174,447,224 円でした。
- ・いきいき福祉会の総合事業通所型サービスが約 130%伸びているのは、2018 年度までラポール城南の介護予防サロンで受け入れていた要支援の利用者を 2019 年度 4 月から稲荷のデイサービスで受け入れ(城南のサロンは閉鎖)、新たな要支援利用者を受け入れ利用人数が増加したためです。
- ・介護保険給付の通所介護事業は生活クラブ、W.Co 連合会、いきいき福祉会とも伸長しましたが、総合事業の通所型サービスは利用者 70.6%の減少により事業高も前年比で減少しています。
- ・生活クラブではリハビリクラブ鴨居の訪問介護事業開始があり、実績が前年比 114.7%と伸長しています。
- ・W.Co 連合会は総合事業サービス A、サービス B ともヘルパー不足や利用者減により前年比マイナスとなりました。いきいき福祉会は、ヘルパー不足の中、藤沢エリア内に事業者が少ない夜間訪問介護や定期巡回訪問看護・介護(ラポール城南)の訪問を中心に家事援助や総合事業より身体介護を優先して支援したため、訪問介護の実績が減少しました。ヘルパー確保の難しさが運動グループにおいても顕著になっています。
- ・介護保険事業(通所介護・訪問介護・総合事業を含む)事業高は合計 1,194,775,674 円であり、そのうち総合事業の事業比率は、通所型サービスは 4.0%、訪問型サービスは 28.7%でした。 <表 11-2>

総合事業 通所型サービス (単位:円)				介護給付 通所介護事業			2019年度	
	2019年度	2018年度	前年比	2019年度	2018年度	前年比	計	総合事業通所型サービスが通所介護全体に占める割合
生活クラブ	10,532,811	13,732,402	76.7%	305,444,000	288,293,597	105.9%	315,976,811	4.0%
W.Co連合会	6,596,147	7,978,600	82.7%	195,991,783	188,265,762	104.1%	202,587,930	
いきいき福祉会	9,409,373	7,301,719	128.9%	133,353,000	113,782,281	117.2%	142,762,373	
計	26,538,331	29,012,721	91.5%	634,788,783	590,341,640	107.5%	661,327,114	

総合事業 訪問型サービス (単位:円)				介護給付 訪問介護事業			2019年度	
	2019年度	2018年度	前年比	2019年度	2018年度	前年比	計	総合事業訪問型サービスが訪問介護全体に占める割合
生活クラブ	16,782,536	17,085,974	98.2%	66,360,173	57,847,430	114.7%	83,142,709	28.7%
W.Co連合会	128,736,774	129,972,180	99.0%	273,622,667	282,837,788	96.7%	402,359,441	
いきいき福祉会	2,389,583	4,408,204	54.2%	28,049,000	36,602,796	76.6%	30,438,583	
計	147,908,893	151,466,358	97.7%	368,031,840	377,288,014	97.5%	515,940,733	
総計	174,447,224	180,479,079	96.7%	1,002,820,623	967,629,654	103.6%	1,177,267,847	

※福祉クラブ生協は介護給付と総合事業が区分されていないため上記に含まず。

### 3) 通所型サービスの概要

<表 12>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	W.Co協会	2019年度実施事業数	実施事業数前年比	2019年度利用人数	利用人数前年比
現行相当	6	6	2	6		20	105.3%	148	48.5%
サービスA	1					1	50.0%	0	#DIV/0!
サービスB	0	2		2	1	5	250.0%	35	194.4%
一般介護予防等	1	0	1	2		4	400.0%	45	#DIV/0!
計	8	8	3	10	1	30	125.0%	228	70.6%
前年比	100.0%	114.3%	150.0%	142.9%	#DIV/0!	125.0%	—	—	—

・現行相当の実施数は20事業で、前年比105.3%と伸長していますが、各事業所で登録者が半減し、利用人数は昨年比48.5%となっています。

・サービスA：実施は1事業ですが、利用者はいません。

・サービスB：5事業となり、登録利用者は35人です。

・一般介護予防等：実施は4事業です。

茅ヶ崎市：生活クラブ(W.Coのびのび)／転倒予防教室(茅ヶ崎市委託事業)

川崎市：W.Coメロディー／川崎市住民主体要支援者支援事業(川崎市委託事業)

逗子市：W.Coこだま／集いの場

藤沢市：いきいき福祉会／「通いの場」介護予防教室(軽体操、脳トレ)

・通所型の実施事業数は前年比125%と増えていますが、利用者人数は前年比70.6%と減少しています。

\*現行相当利用者数が増えているのは1事業所のみで、その他の事業所では半減している状況です。

\*サービスBは、2事業から5事業に増え、利用人数も2倍弱となっています。新規に開始した福祉クラブでは、第6次5ヶ年計画の中で、「居場所・たまり場&組合員の拠点づくり」を方針化し、検証視点の中に回数増の取り組みがあり、月3回開催では総合Bを目指すとしています。今回調査では、Dayいのやまで開始しました。他の2事業は、たすけあい心とW.Co協会で、2018年度調査時には申請中でしたが、計画通り開始しました。いずれも横浜市の補助金を活用しています。

\*その他生活支援サービスの実施に関するコメントでは、「やりたいと思っているがニーズが見えない」、「3ヶ月で終了すると、その先に利用できる事業がなく行き場がない\*」などの課題があります。(※地域包括支援センターは、3か月に1回程度のモニタリングを行い、事業が終了する場合があります。)

### 4) 訪問型サービスの概要

<表 13>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	2019年度実施事業数	実施事業数前年比	2019年度利用人数	利用人数前年比
現行相当	5	19	2	24	50	108.7%	1045	106.5%
サービスA	1	17		10	28	90.3%	184	87.6%
サービスB				1	1	50.0%	2	7.7%
サービスD				1	1	100.0%	19	158.3%
計	6	36	2	36	80	100.0%	1,250	101.7%
前年比	120.0%	100.0%	100.0%	97.3%	100.0%	—	—	—

・訪問型の実施事業数80のうち、「現行相当」は50で、6割以上を占めています。実施事業数、利用人数とも前年より伸長しています。



- ・サービスA事業数は28であり、ヘルパー不足や利用者がいないことから、実施事業数、利用者数とも前年より減少しました。
- ・サービスBの前年度実施数は2事業でしたが、2019年度は1事業になりました。利用人数（登録）も前年度26名が、2019年度は2名と大きく減少しました。
- ・サービスDは事業数の増減はありませんが、利用者数は158.3%と増えています。
- ・訪問型の実施事業数計は前年と同数(80)ですが、現行相当の実施事業数が増えたことと、受け入れ努力により、利用人数が前年比101.7%と微増しています。
- \*サービスAは、「該当する利用者がいたら受ける」、「対応できるヘルパーがいないので断っている」等のコメントがある。利用者がいない事業は13と約半数あります。利用者がある事業の中でも6事業所（横浜市・藤沢市）で163人の利用者があり、サービスA全体利用者の89%を占めています。実施していても、「ヘルパーは誰でも良いわけではなく資格者がサービスに入ることが多く、利用者を増やすことは難しい」とのコメントもあり、引き続き課題です。
- \*サービスBを実施しているのは、逗子市のW.Coだけになりました。昨年同様、「ニーズとのマッチングが難しくサービスにつながりにくい」とのコメントがありました。内容はゴミ出しなど短時間でできる簡単なサービスが多く、そのために交通費が必要なスタッフを派遣すると自主事業よりも割高になるなど制度の使い勝手が悪く、利用人数は昨年1名から2名になりましたが、なかなか増えていません。

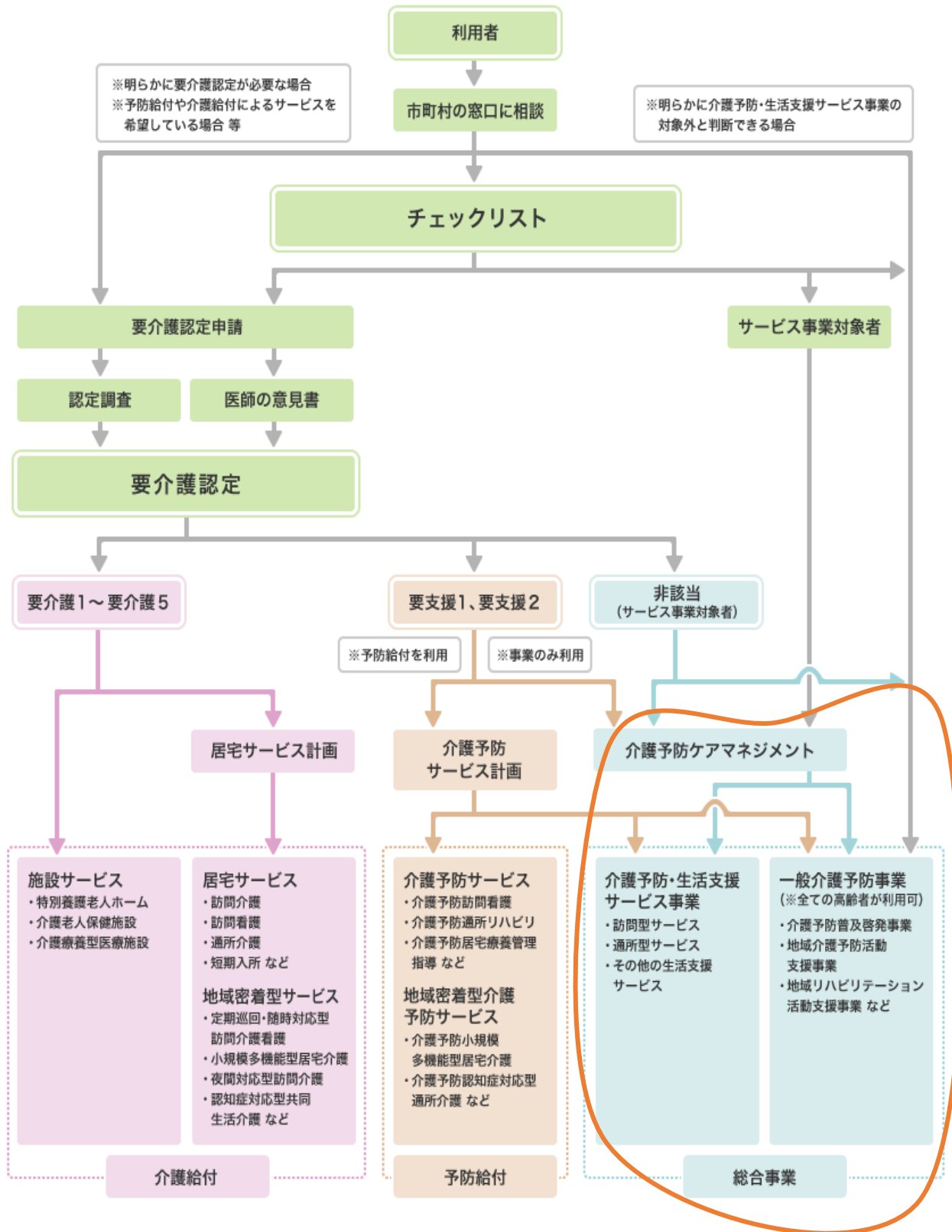
## 5) 課題整理

- ・今回の調査では、訪問型・通所型共にサービスAについては事業数、利用者数ともに減少し、利用がない事業数は半数近くとなり、これまで課題として出されていた、人材不足、有資格者で対応することが困難等の事情が顕著になっていることが見えてきます。
- ・“総合事業”は自治体が事業主体として実施する地域支援事業であり、これまでも自治体ごとに実施事業の差異が生じていることを報告してきました。通所型サービスBについてはさらに横浜市に集中してきています。
- ・総合事業の中でも訪問型サービスB、通所型サービスBは、住民相互の「支えあい・たすけあい」の充実を本旨とする介護予防事業です。今回の調査では、地域住民が主体となった取り組み（総合事業通所型サービスB、その他生活支援サービス・一般介護予防の「通いの場」）は生活クラブ運動グループでの取り組みは少しずつ進んでいます（川崎市住民主体要支援者支援事業、茅ヶ崎市転倒予防教室、逗子市の集いの場）。介護給付事業の対象者が要介護者に限定され、一方、自治体が事業主体である総合事業の実施がなかなか進まない中で、参加型福祉を基盤にもう一つの地域包括ケアを地域に広げていくためには、住民主体の“サービスB”だけではなく、自治体事業である一般介護予防事業「通いの場」にも着目し、活用することによって市民参加による自主的な担い手であるアソシエーション(有償・無償)づくりを進めていきたいものです。ただし、「住民主体」としつつ、市民活動の多様性や柔軟性、自発性を活かすことのできない行政主導型の画一的な施策では、市民のニーズに充分対応できないことは明らかです。
- ・地域のニーズを拾えるのも、そこに住み暮らすW.Coや市民ならではできることです。“総合事業”や自治体が進める一般介護予防は、自治体による実施状況の差異はありますが、自分たちが住む自治体がどのような施策を持っているのか、もっと情報を集めたり地域の中で情報交換していく必要があると考えます。後述するコミ・オプ福祉の相互連携等に関する調査では、他団体や自治体担当部局との

連携が挙げられています。そういった場を活用し、市民参加の地域づくりを検討するための対応を急ぎたいものです。

- ・団塊の世代が後期高齢期に入る「2025年」はすぐ目の前まで来ていますが、同時に成人1.5人で一人の高齢者を支えるとされる「2040年」も遠くない将来です。2040年はさらに高齢化と人口減少が進み、誰もが「支え・支えられる」当事者となります。自らが住み暮らす地域の自治を市民参加で進めるという運動グループ全体で共通の目的意識に立ち、その具体化を急ぎたいものです。

介護保険制度のしくみ—介護予防・日常生活支援事業（総合事業）



(「埼玉県志木市ホームページ」より)



2018年度 県内9自治体の介護予防・生活支援サービス実施状況表

2019.4現在

介護予防・生活支援実施事業/自治体名		横浜市	川崎市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	相模原市	厚木市	逗子市	葉山町
訪問型サービス	①訪問介護現行相当	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②訪問型サービスA(緩和)	○	○	○	○	○	○	○		
	③訪問型サービスB(住民主体)	○(補助事業)	○	○(補助事業)			○(補助事業)	○(補助事業)	○(モデル事業)	
	④訪問型サービスC(短期集中)	○	○(訓練型)		○	○				○
	⑤訪問型サービスD(移動支援)						○			
通所型サービス	①通所介護現行相当	○	○(5時間以上)	○	○	○	○	○	○	○
	②通所型サービスA(緩和)		○(5時間未満)			○	○			
	③通所型サービスB(住民主体)	○(補助事業)	○(広告・宣伝のみ)	○(補助事業)			○(補助事業)	○(補助事業)		
	④通所型サービスC(短期集中)			○		○	○	○	○	○
その他の生活支援サービス	①栄養改善を目的とした配食	○(補助事業)					○			
	②住民ボランティア等が行う見守り	○(補助事業)					○			
	③自立支援に資する生活支援									
備考	活動費:年間60万円 通所型サービスB: 家賃など人数により 120~240万円					通所:1回あたり1,000円 訪問:買い物や散歩週あたり1,000円 ゴミ出し週2回で1週あたり1,000円 (通所・訪問とも)受け入れ人数が3人を超えるごとに1回500円上乗せ	地区限定 訪問:500円×延べ日数+四半期に15,000円 通所:500円×延べ利用者数+四半期に20,000円			
一般介護予防事業	①介護予防把握事業								訪問面談支援	
	②介護予防普及啓発事業		いこい元気広場事業等	運動・栄養・口腔ケア等 介護予防各種教室	健康講座・認知症予防講座 認知機能アップ教室	転倒予防・介護予防 栄養教室・講演会	筋力向上トレーニング 介護予防教室	運動教室・健康講座 転倒骨折予防教室	体力測定・介護予防 手帳・介護予防教室	元気はつらつ教室・認知症 予防教室・介護予防運動教室
	③地域介護予防活動支援事業	元気づくりステーション 事業等	通いの場(補助)	サロン・サークル等 通いの場支援	集いの場事業・ 介護予防関連事業	高齢者支援リーダー養成講座 ・歌体操教室	介護予防サポーター 養成講座	通いの場事業	サロン・ 通いの場支援	貯金運動・ 通いの場事業
	④一般介護予防事業評価事業						生き生きシニア地域活動 補助金・ハートポイント		ニーズ調査	
	⑤地域リハビリテーション活動支援事業					サロンリハ・自宅リハ				
備考		1団体あたり、年間最大 30万円、2年間申請可能	介護予防・健康づくり自 主活動団体へ補助金を 交付。運営費として月額 1万円を上限として補助							

\* 鎌倉市では、平成31年1月から、総合事業Bが開始になりました。

## 介護給付と総合事業の報酬比較

総合事業は自治体事業であり、報酬単価は自治体が決定するため自治体により差異があります。横浜市を例に示して、介護給付に対して総合事業の報酬額は約 60～70%である。

### 通所事業介護事業者の報酬 (要介護1の利用者が週1回利用した場合1ヶ月の比較)

介護給付 25,548 円の報酬 ⇒ 現行相当では 15,890 円となり、介護給付の 62%の収入となる。

### 訪問事業介護事業者の報酬 (身体介護中心 45分程度のケアを月4～5回利用の場合1ヶ月の比較)

介護給付 15,773 円の報酬 ⇒ 現行相当では 11,689 円となり、介護給付の 74%相当の収入  
サービスAでは 10,518 円となり、介護給付の 67%相当の収入となる。

< 参考 > 2019 年 4 月現在

#### 通所事業

##### 1) 地域密着型通所介護報酬 (小規模)

通所介護費 (1回につき)	単位数	月4回報酬(円)
(1) 要介護1	662	25,548
(2) 要介護2	782	30,179
(3) 要介護3	903	34,849
(4) 要介護4	1,023	39,480
(5) 要介護5	1,144	44,149

##### 2) 介護予防・日常生活支援総合事業報酬

区分		1ヶ月の単位数	1ヶ月の報酬 (円)
相 現 当 行	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,647
		週2回程度	3,377
			15,890
			32,581

#### 訪問事業

##### 1) 介護保険訪問介護報酬

訪問介護費 (1回につき)	単位数	月4回報酬(円)
イ 身体介護が中心である場合		
(1) 所要時間20分未満の場合	165	6,605
(2) 所要時間20分以上30分未満の場合	248	9,928
(3) 所要時間30分以上1時間未満の場合	394	15,773
(4) 所要時間1時間以上の場合	575	23,018
ロ 生活援助が中心である場合		
(1) 所要時間20分以上45分未満の場合	181	7,246
(2) 所要時間45分以上の場合	223	8,927

##### 2) 介護予防・日常生活支援総合事業報酬

区分		1ヶ月の単位数	1ヶ月の報酬 (円)
現 行 相 当	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,168
		週2回程度	2,335
		週2回を超える程度	3,704
			11,689
サ ー ビ ス A	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,051
		週2回程度	2,102
		週2回を超える程度	3,334
			10,518
			21,037
			33,367

### 3. 「居場所・サロン」調査

#### 1) 調査概要

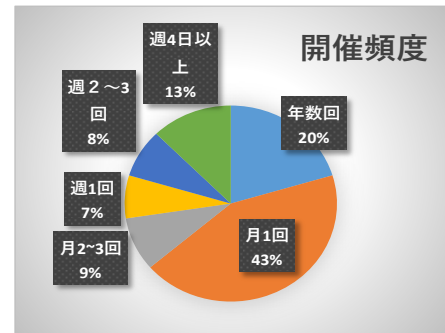
<表 14>

団体名	開催企画	対象者				回数						
		誰でも	高齢者・家族	子ども(親子)	その他	年数回	月1回	月2~3	週1回	週2~3	週4日以上	合計
福祉クラブ	32	18	6	4	4	2	23	2	2	3	0	288
いきいき福祉会	1	1		0	0	0	0	0	0	0	1	1
W.Co連合会	78	40	13	21	4	21	26	8	6	5	12	78
W.Co協会	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
計	113	60	19	25	9	23	49	10	8	9	14	113

\*ラポールミツ沢での開催は、「W.Co連合会」を含む

\*「生活リハビリクラブ」(生活クラブ)での開催は、「W.Co連合会」を含む

- 2018年度調査実績は49団体110企画でした。2019年度調査では47団体(福祉クラブ、いきいき福祉会、W.Co協会は1団体とカウント)、113企画となっています。また、開催場所は84ヶ所(複数企画:前年は80ヶ所)で実施されています。
- 福祉クラブ1企画、W.Co協会1企画、W.Co連合会4企画が新たに実施されていますが、W.Co連合会の2企画が休止となりました。
- 参加対象を「誰でも」とオープンにした開催が一番多く、60企画(53%)、次いで、「子ども(親子)」(22.1%)、「高齢者・家族」(16.8%)の順と、これまでと変わらない状況です。
- 開催数では、月1回開催が一番多く43%と約半数になっています。次いで、年数回の開催(20%)、週4日以上(13%)、月2~3回の開催(9%)の順です。2018年度に比べ、週4日以上(13%)の開催が増えているのが特徴です。



#### (1) 開催回数

- 常設型(週4日以上)は、これまでの12企画に加え、W.Coメロディー(多世代の居場所メロディーココ)、W.Co実結(藤沢市地域の縁側「ぱらそる」運営委員会:ぱらそる)2企画が増えて下記14企画となりました。
- <表 14>にあるように常設型の企画は全て、自治体の委託事業としての運営、あるいは自治体、企業、社協等からの補助・助成がある企画となっています。

<表 15>

常設型企画の事業高内訳

	名称	組織名	自主事業	補助・助成	補助事業	委託事業
1	青葉区子育て支援拠点ラポール・ラポールサテライト	パレット				○
2	親と子のつどいの広場びよびよ		○		○	
3	親と子のつどいの広場ぶーぶーしえずた		○		○	
4	反町カフェぼらん	W.Co協会	○	○		○
5	ふれあい広場よつば	たすけあい戸塚	○	○		
6	コミュニティルームここ	たすけあい心	○	○	○	
7	親と子のひろばだっこ	ハッピーママプロジェクト	○		○	
8	みんなの居場所「はなもも」	グループとも	○	○		
9	多世代の居場所メロディーココ	メロディー	○	○		○
10	愛らんど久里浜	キッズポケット				○
11	愛らんど追浜					○
12	交流スペースほっと舎	ほっと舎アルク	○		○	
13	ぱらそる	ぱらそる運営委員会			○	
14	藤沢市地域ささえあいセンターかるがも	いきいき福祉会	○		○	○

(2) 運営主体

- 生活クラブ生協関連の施設では、W.Co と組合員の連携による「運営会議」が主体となり、カフェやサロンなどの居場所を運営しています。また、福祉クラブ生協は、「地域協議会」や「連絡会」による開催が 19 企画あり、複数 W.Co 等が地域で連携し運営する居場所を加えると全体で 33 企画にのぼり、連携型の開催が多くなっています。
- 単体 W.Co では、社協との共催、W.Co 同士やいきいき福祉会(法人)と W.Co との共催などがあります。海老名市での W.Co、組合員、NET、WE21 等の連携による“居場所を考える会”、W.Co ぱーとなーメンバーと市民のコラボで実施する“華の会”、藤沢のライフ&シニアハウス内の縁側事業を W.Co や生活クラブコモンズが運営委員会に加わるなど多様性が広がっています。

(3) 連携先

- 単体 W.Co 間や運動グループ内の連携を除くと、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)、社協、地域活動支援センター、区役所などの公的機関や町会、地域の事業者(子育て・福祉)、ボランティアとの連携もありますが、6割近くの企画は単独で開催されています。

(4) 事業高

<表 16> (単位:円)

団体名	事業高								年間経費	前年比
	自主事業	前年比	補助事業	前年比	委託事業	前年比	合計	前年比		
福祉クラブ	3,843,684	89.4%	1,235,000	368.7%	0	-	5,078,684	109.6%	4,710,897	101.7%
いきいき福祉会	1,160,000	33.3%	2,998,000	115.3%	4,346,600	99.9%	8,504,600	81.5%	13,610,000	283.5%
W.Co協会	4,619,250	308.0%	1,800,000	26.0%	310,000	#DIV/0!	6,729,250	80.2%	7,800,000	#DIV/0!
W.Co連合会	17,924,940	170.8%	22,598,000	94.1%	89,418,507	111.9%	129,941,447	112.3%	132,692,753	117.1%
計	27,547,874	139.3%	23,631,000	69.8%	94,075,107	111.7%	150,253,981	108.0%	158,813,650	129.3%
構成比	18.3%		15.7%		62.6%		100.0%			

- 「居場所・サロン」の事業高は、自主事業(助成・補助含む)、補助事業、委託事業に分類されます。今回調査では、自主事業(補助・助成有り)が 93 企画、補助事業が 10 企画であり、基礎自治体の委託事業が 10 企画となっています。子育て支援関連の受託額が大きいため、事業高では委託事業の構成比率が 62.6%と高くなっています。

<自主事業>

- 今回調査より運営費を会費や飲食代等の自主財源で賄う「自主事業」と、自治体の「補助事業」として位置付けられている事業を区分したため、自主事業が 139.3%と伸長しています。中でも W.Co 協会、W.Co 連合会が伸長しています。W.Co 協会はカフェ事業等、W.Co 連合会では常設となった W.Co メロディーのカフェ事業等での収入増が特徴的です。他にも利用収入等が増えた企画もあります。
- 自主事業の収入内訳は、参加費(材料費・お茶代・資料代・施設使用料)以外に、企画・イベント収入、食事代、フリーマーケット、貸室、寄付、賛助会費等です。年間数千円から 350 万円程度の幅があります。事業高 100 万円台の企画では、寄付や賛助会費等の収入が多くを占めています。半面、参加費やお茶代等を徴収しても計上していないところが半数以上あります。
- 補助・助成等を受けているのは、約 15%の 16 企画です。その金額は 1 万円~160 万円(年)程度で、平均すると 16 万円ほどです。助成の実施主体は自治体や社協、赤い羽根共同募金等です。民間のライフフリー事業助成金(神奈川県土地建物保全協会)(公財)かながわ生き生き市民基金、(公財)川崎オリックスなどの活用もありました。

<補助事業>

- 上記のとおり、区分変更により補助事業は前年比 69.8%となりました。横浜市の親と子のつどいの広場事業、藤沢市の地域縁側事業、横浜市総合事業 B 型等の事業です。全企画の約 1 割となってい

ます。

- ・福祉クラブDay いのやまや W.Co 連合会の港南たすけあい心等で横浜市総合事業B型の活用が始まり、総合事業通所型Bを実施しているのは5企画に増えました。

<委託事業>

- ・昨年の委託事業は5企画でした。川崎市で住民主体による要支援者等支援事業の参入等で5企画が増え、前年比111.7%と伸長しています。
- ・今回の調査では下記の10企画が、行政から委託を受けて活動しています。 <表17>

組織名	企画名	委託元
W.Coパレット	青葉区子育て支援拠点ラフル	横浜市
W.Co協会	反町カフェぼらん	横浜市(就労準備支援事業)
	居場所ぼらん	
W.Coばんじい	ばんじいひろば	川崎市(住民主体による要支援者等支援事業)
	たまり場ばんじい	
W.Coメロディー	多世代の居場所メロディーココ	〃
W.Coキッズポケット	愛らんど久里浜	横須賀市
	愛らんど追浜	
いきいき福祉会	生活支援コーディネーター事業	藤沢市
生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	転倒予防教室	茅ヶ崎市

(5) 開催目的と企画内容

<表18>

開催目的	交流	子育て支援	会食交流会	介護予防	その他	合計
2019年度企画数	70	21	9	10	3	113
2018年度企画数	65	22	10	10	3	110
2017年度企画数	60	14	8	4	9	95

- ・交流が70企画と一番多く、次いで子育て支援21企画、介護予防10企画でした。
- ・企画の中で認知症サポート関連は5企画あり、地域包括支援センターやケアプラザと連携してオレンジカフェの役割も果たしています。
- ・介護予防は10企画で、横浜市の通所型サービスBでの実施、川崎市の住民主体による要支援者等支援事業、茅ヶ崎市一般予防事業の委託事業(転倒予防教室)や公園での体操・太極拳や健康麻雀等です。
- ・テーマを決めた学習、体操、手芸、折り紙、民謡、昼食作り等、様々な企画を立て運営している企画型と、定型的な企画は特にもたずにおしゃべりや交流、相談を中心に運営している自由型の2種類に大別されますが、ほとんどが企画型です。
- ・その他は福祉クラブの企画で、消費材の紹介や男性介護者の集い、介護の相談会・健康チェック等の企画もあわせ、地域の人に呼びかけて行っています。

(6) 開催場所

- ・今回の調査でも多くは自前(関連団体含む)施設を活用しています。その他は、ケアプラザ、町内会館や地域活動支援センター等の公共施設、近所の貸家・貸会場などで実施されています。公園を会場として太極拳等を行っているところもあります。組合員宅(交流)・施設の庭(園芸サークル)の活用も見られますが、大きな変化は見られず、貸会場等自前施設以外での開催は、全体の15%程度となっています。

(7) スタッフの体制等

- ・スタッフ体制も変化は見られず、特定のメンバーによって運営しているところが約半数です。次いで、「リーダー」、「全員交代」となっています。元メンバーや有志が関わり運営しているところも少数あります。
- ・ワーク代「無し」が約半数で、半数は分配金の対象となっています。交通費程度から、時間数に応じてなど、様々な考え方により運営されています。W.Coのワークの一環とするところ、コーディネーター(横浜市通所型サービスBや藤沢市地域支えあいセンターを受託しているいきいき福祉会)を配置して実施しているところもあります。
- ・居場所・サロンの運営に当たっては、ほとんど現W.Coメンバーが関わり運営している一方で、地域の他団体やボランティアが関わっているところも少数あります。地域で持続性を持って居場所・サロンを運営し、地域に認知され開かれた場にしていくためにも、W.Coの元メンバーや地域のボランティアなど多様な人の参加が期待されます。

## 2) 団体・部門別開催状況

<表 19>

	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会							W.Co協会	合計
			家事介護	デイ	住まい型	生活文化	保育部門	食部門	計		
2019年度	32	1	24	18	8	7	20	1	78	2	113
2018年度	31	1	24	15	8	7	21	2	77	1	110
2017年度	24	1	27	15	6	5	14	2	69	1	95

- ・新たな企画増は、これまで実施していた団体の企画数の増加や新規開催によるものです。

## 3) 「居場所・サロン」追加調査

本報告書にまとめた主にW.Co等が制度内外の福祉事業や子育て支援事業が先行し、それらと並行して行っているサロン・居場所活動に加え、事業先行型ではない生活クラブが支援して開設したアソシエーションや、生活クラブ運動グループ関連団体や外部の市民団体が、空き家や空き店舗を活用した特徴的な居場所の取組みについて追加調査を行いました。

調査時期：2020年10月

対象団体：空き家等を活用したサロン・居場所

	名称	団体名	開始年	備考(きっかけ等)
運動グループ関連	フリースペースら・ぱれっと	フリースペースら・ぱれっと	2015年	隣の保育園との関わりから子育ての現状等を知ることから。地域のつながりから。単独事業。(茅ヶ崎市)
	リトルファームHOMMOKUもくり	もくり運営委員会	2018年	WEショップから商店会会長(家主)経由。単独事業。築80年の平屋(横浜市中区)と広い庭が特徴。
生活クラブが支援したアソシエーション	ひだまりの家	ひだまりの家プロジェクト	2018年	さがみ生活クラブの空き家調査から。市民団体と協働(座間市)
	なでしこ放課後食堂	なでしこ放課後食堂プロジェクトチーム	2019年	湘南西海岸デポーと連携。閉店した店舗(平塚市)を活用。
	オレンジカフェふくじゅ	オレンジカフェふくじゅ	2019年	空き家となった実家(伊勢原市)
	こもれびの家	こもれびの家	2019年	民家の一室(海老名市)
一般	おもしろやりハウス	NPO法人おもしろやりカンパニ	2019年	ママ友3人で買物支援を行う任意団体を結成。その後ヨコハマ市民まち普請事業

		一		に挑戦し採択。築 60 年の戸建てを改装。おもいやりハウスをオープンさせ通所型サービス B 実施。(横浜市南区)
--	--	---	--	--

- 地域の中で、孤立した子育ての現状や高齢者のさまざまな困難等を、自分たちの問題として捉え、一人ひとりができることを持ち寄りながら課題を解決したいということが動機になっているというのが共通しているようです。身近な人たちに声をかけ、専門性をもつ人を含めたさまざまな協力を得ながら一つひとつハードルを乗り越えて空き家や空き店舗を活用した「居場所」を開設しています。また、継続していくために助成金等を有効活用しています。

#### 4) 課題整理

- (1) 47 団体から (113 企画) のデータ提出がありました。2 企画休止していますが、新規開設もあり企画数が昨年より若干増加しています。
- (2) 今回の調査では、週 4 日以上開催企画が増えたことが特徴です。増えた企画は、いずれも組織的な常設方針に基づいて運営されています。そして、週 4 日以上開催企画のほとんどが“助成”や“委託”を受けています。居場所の開催には会場費や人件費等の運営費をはじめ多くの課題が出されていますが、課題を踏まえ様々な推進策の検討が必要です。週 4 日以上開催企画が増えたことは、組織によるコミュニティづくりの推進策とともに、自治体、企業等の助成（補助）等の情報を共有し、活用した実践例と捉えられます。
- (3) 地域の中には、誰もが集える多様でオープンな居場所・サロンが求められていますが、一方では生活困難を抱える人や男性介護者のように対象者を限定した居場所の必要性もあります。しかし、最初から開催目的を絞る必要はなく、年に数回でも地域の人を対象とするところから始めるなど、できる形でスタートすることが大事です。そして、同じ場所で、曜日・時間帯や対象者を変えていく等、柔軟性のある企画・運営や、目的や対象者を絞った展開も考えられます。居場所・サロンの企画が地域にさらに広がり、点を結ぶ線がもっとたくさん張り巡らされ、自分がいききたいと思える居場所が地域にあることが大事だと言えます。
- (4) 調査からは、ボランティアや W.Co 元メンバーの関わりも見えますがその数は少なく、運営主体のメンバーがリードしている姿が見えてきます。総合事業 B は本来住民が主体となっていく介護予防であり、居場所・サロン活動もいかにして市民の力と関わりを引き出していくかが鍵と言えます。そのためには、運営への市民参加を進めるコーディネート力が今まで以上に重要です。まずは主体が元気に活動し、継続することで地域へメッセージを強め、W.Co の存在や、参加型福祉の価値と認知を地域に広げていきたいものです。
- (5) 総合事業の「通いの場」を次期介護保険制度改定の柱にし、介護予防のための受け皿にする方向が検討されています。しかし、総合事業住民主体のサービス B においても市民の多様で柔軟な活動を画一的な行政主導による場づくりでは広がっていない現状が見えています。市民主体でこそ住みやすい地域づくりが可能だという問題意識のもと、生活クラブ運動グループが行う 100 を超える「居場所」の実践から、市民の自主的な活動を広げ、より取り組みやすくするために自らの住む自治体へ声をあげていきたいものです。with コロナの時代、私たちは、安心や安全を市民の多様な知恵と工夫でつくりあげていくことがますます重要になっています。地域での情報発信とお互いの情報交流を通して、多様な人びとが集う「居場所・サロン」を地域コミュニティの活動拠点としていきましょう。

#### 4. コミ・オプ福祉の相互連携等に関する調査

##### 1) 調査概要

###### ①団体別集約数

<表 20>

団体名	送付数	回答数	前年比	連携有	前年比	政策提案活動	前年比
W.Co連合会	84	41	128%	29	116%	12	85%
W.Co協会	1	1	—	1	—	1	—
福祉クラブ	1	1	—	1	—	1	—
いきいき福祉会	1	1	—	1	—	0	—
計	87	44	129%	32	118%	14	87.5%

- ・87 組織に送付し、半数の 44 組織から回答を得ました。
- ・単体 W.Co からの回答が増え、W.Co 協会、福祉クラブ生協からの回答も加えると、前年比 129%となります。

###### ②エリア別集約数

<表 21>

エリア	送付数	回答数	前年比	連携有	前年比	政策提案活動	前年比
横浜市	30	18	145%	10	100%	3	150%
川崎市	14	4	50%	2	40%	2	25%
県央(相模原、海老名、座間、綾瀬、大和)	19	11	160%	8	260%	6	600%
三浦(横須賀、逗子、葉山町)	9	6	140%	6	300%	0	0%
湘南(平塚、藤沢、茅ヶ崎)	14	4	130%	5	200%	2	100%
県内全体(福祉クラブ)	1	1	-	1	-	1	100%
	87	44	132%	32	111%	14	88%

- ・県央、横浜、三浦エリアの順に回答数が増え、川崎エリアでは半減しました。
- ・三浦、県央、湘南エリアでは、「連携有」の回答が、昨年の 2 倍以上となっています。

##### 2) 生活クラブ運動グループ間や市民ボランティア等との地域連携

###### (1) 連携の種類・概要

<表 22>

連携の種類	内容	回答数	構成比	前年比
交流・情報連携	会議等を通じての交流・情報共有	30	35.2%	157%
イベント等の連携	イベント等の交流	16	18.8%	84%
ボランティアとの連携	ボランティアの受け入れと活動参加	13	15.3%	130%
業務提携・業務委託	サロン送迎や食事配達、親子のひろばの運営委託等	13	15.3%	260%
政策提案を共に行う	ローカルユニットや地域連携協議会を通じた連携	13	15.3%	108%
		85	100%	130%

- ①45 団体中 32 団体 (71%) で何らかの連携があると答えています。
- ②連携の種類としては、会議での情報共有が 35.2%と最も多く、ついでイベント等の活動連携が 18.8%、業務委託・提携、政策提案活動、ボランティアの受け入れはいずれも 15.3%となっています。

###### (2) 連携の内容

###### ①会議連携

「ユニット」等の運動グループの会議は各地域で行われています。そのほか、葉山町では W.Co くるまやさんが地域の福祉ニーズのアンケート調査を町の他団体とともにこなっています。逗子市では W.Co こだまが社会福祉協議会、老人会、包括支援センターなどとともに、介護保険外の多様なサービス検討会に参加しています。その他移動サービスなどでも各自自治体で他団体との会議の場を持っており、地域での認知度や、信頼関係の深まりがうかがえます。



## ② イベント等の活動連携

地域の祭りへの参加やバザーへの出店などが多く、複数の団体では研修会・学習会などの開催、地域へ向けたコンサートの開催などが積極的に行なわれています。W.Co キッズポケットではおもちゃコンサルタントが親子で集う広場で、良いおもちゃの紹介と遊びを提供しています。W.Co 笑顔では市民バザーで「福島の親子とともに」平塚、という団体を通して協力や寄付をおこなっています。

## ③ ボランティアの受け入れと運営参加

W.Co あいあいでは地域の大学のインターシップや研修の受け入れ、W.Co のぞみでは小学校の福祉体験、などを受け入れています。また、自組織の事業・活動（施設内のまつり、お出かけ企画、子どもの夏休みイベント）への W.Co のOBや地域住民、学生、小中学生の参加等があげられます。福祉クラブ生協ではボランティアはコミ・オブサポーターとして登録して様々な業種で活動しています。いきいき福祉会では施設で傾聴、アニマルセラピー、パン粘土などの多彩なボランティアを受け入れています。

④ 業務委託・業務提携では、W.Co ケアびーくるが、大和市発行の「福祉タクシー利用券」使用可能団体となっています。W.Co くるまやさんは葉山町の高齢者のサロン送迎サービスを町からの委託(総合事業サービス D)でおこなっています。また、地域内の W.Co が運営するデイサービスへの食事配達、送迎や、施設内の生活支援など運動グループ間での委託・提携も増えています。

その他、総合事業、子育て支援など行政独自の事業を多数受託しています。

## (3) 連携先の広がり

地域生協や運動グループ、ユニットだけではなく、地域内の他の市民団体や町内会・民生委員等の人たちとの連携が多くあります。また、区や市社協、ボランティア市民活動団体、区の訪問介護事業所連絡会等の組織の一員として連携を図ったり、自治体部局と会議等を通しての協議・連携が見られます。

## 3) 政策提案について

### (1) 概要

45 団体中 14 団体から回答がありました

### (2) 共に行う団体

横浜ユニット連絡会、相模原ユニット、コミオブ大和、ゆ・につ・と横須賀、ヒューマンサポート・ネットワークあやせなど地域ユニットの構成団体が主になっています。

他には地域活動連携協議会等の団体が挙げられています。川崎ではユニット以外に、福祉 W.Co が全市で集う「市民福祉事業センター・かわさき」も政策提案活動を行っています。

### (3) 提案活動の内容について

- ・多くは市町村に対する“予算要望”があげられます。自分たちの活動の中から見えた課題を市民提案として提出しています。
- ・大和市では広報広聴課を通して市長と懇談し、高齢者、環境、子ども子育てに分かれて提案し、市長から回答をもらっています。綾瀬市は市長と意見交換を行ったり、川崎市での行政ヒアリング等、要望書を提出するだけではない活動が行われています。提案の内容としては、自治体の個別政策・制度に関する提案や、介護保険外の在宅生活を支えるサービスの充実についてなど、各団体にも共通する福祉関連の提案が多くあげられています。

- ・単体 W.Co では行政との会議等が増えている一方で、調査回答数の増加の割には、提案活動の実施が少なくなっています。日々の事業の多忙さなどの事情から、活動に参加しづらくなっていることも事実としてあるようです。

#### 4) 課題整理

- ・地域での連携は様々な内容と方法で進んでいます。一方、運動グループによる各地の「ユニット」や地域活動連携協議会などの会議体を基盤とした連携は、活発な地域とそうでない地域とで差異が見られます。
- ・会議等を通じての交流や連携は 35%の団体がおこなっており、地域の運動グループ以外に行政機関等を含めた他の団体との連携も増えています。
- ・業務委託・業務提携もさまざまな業種で前年と比べて増えており、各団体の他方面への積極的な取り組みがうかがえます。
- ・各団体の活動は地域独自の政策と密接な関係性があります。行政や他の市民団体も参加する会議等による交流・連携が増えていることは、地域の実情やニーズを W.Co がキャッチし、運動グループ間の協力と地域構想づくりの共有化をとおして提案力を高めているとも言えます。

5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内6生協と生活クラブ運動グループとの実績比較

<表 23> (単位：千円)

19年度実績	団体名称	日生協	県内6生協	6生協の割合	運動グループ計
	福祉事業合計	22,033,503	3,857,164	17.5%	3,461,595
実績内訳 (千円)	居宅介護	2,854,028	509,752	17.9%	411,675
	訪問介護	5,687,476	949,851	16.7%	760,951
	通所介護	4,521,580	897,232	19.8%	841,971
	福祉用具(貸与・販売)	1,164,768	469,435	40.3%	60,690
	小規模多機能	1,138,672	71,812	6.3%	93,343
	グループホーム	854,860	0	0.0%	45,733
	定期巡回	108,691	0	0.0%	0
	高齢者住宅	1,729,344	129,596	7.5%	216,145
	その他	2,610,264	517,352	19.8%	921,451
	障がい者	1,363,820	312,134	22.9%	109,636
事業高前年比 (%)	福祉事業合計 事業収入	101.2%	101.4%		102.3%
	居宅介護	101.2%	98.0%		99.7%
	訪問介護	100.2%	101.4%		101.8%
	通所介護	100.2%	101.6%		102.6%
	福祉用具(貸与・販売)	99.6%	100.6%		101.2%
	小規模多機能	111.6%	138.9%		106.5%
	グループホーム	105.9%	-		92.3%
	定期巡回	121.1%	-		-
	高齢者住宅	104.7%	100.9%		104.2%
	その他	97.2%	100.5%		103.6%
サービス事業 別構成比(%)	障がい者	101.1%	102.8%		101.1%
	居宅介護	13.0%	13.2%		11.9%
	訪問介護	25.8%	24.6%		22.0%
	通所介護	20.5%	23.3%		24.3%
	福祉用具(貸与・販売)	5.3%	12.2%		1.8%
	小規模多機能	5.2%	1.9%		2.7%
	グループホーム	3.9%	0.0%		1.3%
	定期巡回	0.5%	0.0%		0.0%
	高齢者住宅	7.8%	3.4%		6.2%
	その他	11.8%	13.4%		26.6%
障がい者	6.2%	8.1%		3.2%	

\*日本生協連・県内6単協の実績は、日本生協連が各単協からデータを集約してまとめたものを使用。

\*県内6単協は、生活クラブ、福祉クラブ、ユニーコープ、富士フィルム、神奈川高齢者生協、パルシステム神奈川

\*運動グループは、生活クラブ、福祉クラブ、W.Co 連合会3団体で、いきいき福祉会は含まず。

\*「その他」には自主(制度外)事業、地域包括支援センター、子育て支援等を含む。

1) 日本生協連

(1) 2019年度福祉事業の集約は45生協であり、福祉用具、その他を除き前年を上回り事業高合計220億、前年比101.2%の実績となっています。年間事業高が10億円以上の生協は9生協となり、前年(8生協)より増加しました(9生協の事業高計:139億円=45生協事業高の63%)。45生協の内前年実績を上回っているのは30生協で約7割を占めています。

(2) 小規模多機能<sup>※1</sup>、グループホーム、定期巡回<sup>※2</sup>、高齢者住宅の4事業が前年を上回っていますが、特に定期巡回(121.1%)と小規模多機能型居宅介護(111.6%)の伸びが大きくなっています。昨年定期巡回を始めたエフコープで倍近く伸長していることや、新しく小規模多機能型居宅介護を開始した単協が複数(コープみらい・京都生協等)あること等が要因です。この4事業合計のサービス別構成比は17.4%(2018年度15.7%)であり、年々構成比に占める割合は高くなってきています。小規模多機能の事業高計は11.4億円、定期巡回は1億9百万円になっています。

※1 小規模多機能型居宅介護事業 ※2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

<地域密着事業及び高齢者住宅実施生協数>

<表 24>

サービス事業名	小規模多機能	認知症共同生活介護 (グループホーム)	定期巡回	高齢者住宅
17年度実施生協	8	7	2	6
18年度実施生協	9	7	3	8
19年度実施生協	12	7	3	10

(3) サービス別事業の構成比では、前年比は低下しているものの訪問介護が25.8%と一番高く、通所

介護 20.5%、居宅介護 13.0%、その他(自主事業、地域包括支援センター・子育て支援等)11.8%、障がい者 6.2%の順になっています。

<2019年度神奈川県6生協及び運動グループ福祉事業実績>

<表 25> (単位:千円)

\*(社福いきいき福祉会を除く)

19年度実績	団体名称	ユーコープ	富士フィルム	神奈川高齢者生協	バルシステム 神奈川	福祉クラブ生協	生活クラブ	県内6生協合計	W.Co連合会	運動グループ計
	福祉事業合計	679,841	542,088	496,823	224,981	1,391,937	521,494	3,857,164	1,548,164	3,461,595
実績内訳 (千円)	居宅介護支援	149,243	26,040	7,524	66,344	206,862	53,739	509,752	151,074	411,675
	訪問介護	257,466	66,618	163,651	106,524	271,722	83,870	949,851	405,359	760,951
	通所介護	63,753	93,241	119,943	0	314,847	305,448	897,232	221,676	841,971
	福祉用具(貸与・販売)	30,798	356,189	0	21,758	60,690	0	469,435	0	60,690
	小規模多機能	0	0	0	0	35,104	36,708	71,812	21,531	93,343
	グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	45,733	45,733
	定期巡回	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者住宅	0	0	0	0	129,596	0	129,596	86,549	216,145
	その他	21,613	0	96,195	7,927	349,888	41,729	517,352	529,834	921,451
	障がい者	156,968	0	109,510	22,428	23,228	0	312,134	86,408	109,636
事業高前年比 (%)	福祉事業合計 事業収入	94.3%	100.3%	105.4%	108.8%	100.6%	108.3%	101.4%	102.0%	102.3%
	居宅介護支援	91.8%	101.4%	70.4%	109.1%	99.8%	101.4%	98.0%	99.1%	99.7%
	訪問介護	94.4%	110.9%	105.3%	111.8%	97.9%	110.9%	101.4%	102.8%	101.8%
	通所介護	99.6%	90.9%	107.5%	-	100.5%	104.7%	101.6%	102.9%	102.6%
	福祉用具(貸与・販売)	88.0%	101.2%	-	111.9%	101.2%	-	100.6%	-	101.2%
	小規模多機能	-	-	-	-	119.9%	163.8%	138.9%	59.9%	106.5%
	グループホーム	-	-	-	-	-	-	-	92.3%	92.3%
	定期巡回	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高齢者住宅	-	-	-	-	100.9%	-	100.9%	109.7%	104.2%
	その他	108.4%	-	98.1%	76.4%	100.7%	107.2%	100.5%	105.4%	103.6%
障がい者	94.1%	-	114.6%	107.7%	114.0%	-	102.8%	98.1%	101.1%	
サービス事業別 構成比(%)	居宅介護支援	22.0%	4.8%	1.5%	29.5%	14.9%	10.3%	13.2%	9.8%	11.9%
	訪問介護	37.9%	12.3%	32.9%	47.3%	19.5%	16.1%	24.6%	26.2%	22.0%
	通所介護	9.4%	17.2%	24.1%	0.0%	22.6%	58.6%	23.3%	14.3%	24.3%
	福祉用具(貸与・販売)	4.5%	65.7%	0.0%	9.4%	4.4%	0.0%	12.2%	0.0%	1.8%
	小規模多機能	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	7.0%	1.9%	1.4%	2.7%
	グループホーム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.3%
	定期巡回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高齢者住宅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	0.0%	3.4%	5.6%	6.2%
	その他	3.2%	0.0%	19.4%	3.5%	25.1%	8.0%	13.4%	34.2%	26.6%
	障がい者	23.1%	0.0%	22.0%	10.0%	1.7%	0.0%	8.1%	5.6%	3.2%

\* 日本生協連・県内6生協は日本生協連「2019年度45生協福祉事業実績」データより

\* 福祉クラブ事業高には子育て支援含む

## 2) 県内6生協

(1) 神奈川県生協連としては福祉事業実績の集約は行っていないため、日本生協連のデータから神奈川県6生協の実績を集計しました。福祉事業合計で約38億6千万円、福祉事業全体では前年比101.4%となっています。居宅介護支援を除き全ての事業が前年を上回り、小規模多機能は138.9%と大きく前年を上回りました。

(2) 日本生協連全体の事業高に占める県内6生協の割合は17.5%と、これまでとほぼ変わりありません。

(3) サービス事業別の構成比は45生協と同様に、訪問介護が一番高く24.6%、次いで通所介護23.3%、その他13.4%、居宅介護支援13.2%、次いで福祉用具12.2%となっています。

(4) 福祉クラブ生協の事業高は14億円弱であり、45生協のうち上位5番目で、県内では規模が一番大きくなっています。次いで、ユーコープ、富士フィルム生協となっています。

## 3) 生活クラブ運動グループ

- (1) 運動グループ3団体の福祉事業合計は34億6千万円であり、前年比102.3%の実績です。居宅介護支援・グループホームで前年を下回りましたが、他は全て前年を上回りました。
- (2) サービス事業別の構成比では、自主事業を含む「その他」が一番高く26.6%、ついで通所24.3%、訪問22.0%、居宅介護支援11.9%で、他生協と比較すると、制度外の自主事業が含まれる「その他」の構成比が一番高くなっているところに、運動グループの特徴が現れていると言えます。

#### 4) 課題整理

- (1) 2019年度の日本生協連のデーターによると、集約した45生協中、3分の2の30生協の事業実績が、前年を上回る結果となっています。県内6生協では、ユーコープを除く5生協が前年比を上回っています。
- (2) 日本生協連45生協の事業高約220億円に占める運動グループ（いきいき福祉会を除く）の事業高は、全体の15.7%(2017年：15.7%、2018年16.2%)に相当します。また、生活クラブ運動グループの子育て関連を除いた福祉事業計は50.5億円<表2参照>であり、日本生協連全体の事業高の割合は、22.9%に相当します。
- (3) また、他生協との事業別構成比の比較では、運動グループの「その他」（コミ・オブ福祉を中心とする制度外の自主事業）割合が26.6%と際立って高く、それらがワークを横断的に貫いているW.Coがコミ・オブ福祉を重視する基本姿勢と運営力の高さが、この結果からも確認できるのではないのでしょうか。
- (4) 日本の超高齢社会と切り離すことができない介護業界の動向は、成長産業と言われ、保険会社、不動産、冠婚葬祭の互助会、警備会社、飲食業などの異業種の大企業による参入と、合併・買収による巨大化が進行し、ますます競争激化が進んでいます。それぞれの会社が持っている強みと傘下に加わった会社の特徴を加え、ブランド力と資本力をもち、日本国内だけにとどまらない勢いです。また、人材不足は一様にあります。ブランド力のある大企業に人材が集まりやすく、中小の事業所では採用が難しい状況もあります。
- (5) 日本生協連に所属している団体は“生協”としての、また運動グループを形成している各団体は“参加型福祉”のブランドを持っています。私たちは、資本力では大手企業にかないませんが、地域に根差したサービスを提供し、地域における信頼を得て実践を続けてきました。地域とのつながりは、かけがえのない大きな財産です。制度事業だけで安心して暮らしていけないことは周知の事実であり、2040年はさらに高齢化と人口減少が進み、誰もが「支え・支えられる」当事者になるのは、そう遠くない将来です。2020年春からのコロナウイルス感染拡大により、「新しい生活」が推奨されていますが、介護をはじめ全世代に及ぶ生活福祉ニーズは待たないであり、直接的で対面による人と人のつながりによるエッセンシャルワーク※はコロナ禍であっても社会の安定と維持には欠くことができません。地域のつながりを強みとして、運動グループ全体で市民参加による“全員参加の持続可能な「福祉社会」”づくりのための共通の目的意識に立ち、その具体化を急ぎたいものです。

※エッセンシャルワーク：介護や医療、宅配便の配達、運送業・郵便局などの流通に関わる仕事、スーパーやドラッグストアなどの小売業、公共交通機関、電気やガス・水道・通信などインフラ業、消防や警察、公務員などの仕事をエッセンシャルワークという。

## Ⅱ. 2021 年度福祉事業・活動計画の検討に向けて—提言—

### あらためて、「居場所」づくりにチャレンジしよう！

前述の生活クラブ運動グループ福祉事業実績のとおり、W.Co などが運営する「居場所」や子育て支援の「ひろば」などは数を増やし、84ヶ所、113 企画が実施されています。

「居場所」や「ひろば」の開催状況は、年数回、月 1 回開催というところが全体の 63%であり、週 4 日以上常設型は 14 企画、11 団体、13%を占めています。そのうち子育て支援を行う W.Co が 3 団体、8 団体が主に高齢者支援を行う団体で、自治体の委託や補助事業、介護事業との併設などによりすべて独立した拠点で運営しています。

生活クラブでも居場所をつくり運営するアソシエーション支援を行っており多様な活動が生まれてきています。

かつて地域社会にあたりまえにあったたすけあい関係性を手放してきた代わりに、私たちはそれをさまざまな制度やサービスで補ってきました。お金さえ払えば、制度にアクセスすれば何とかなるという気楽さから利用者意識やお客さま意識が大きくなり、たすけあう横の関係がづくりにくくなっています。「居場所」や「ひろば」活動の地域での広がり、人間関係のわずらわしさから離れられることと裏腹に孤立にもつながりやすくなってきた暮らしにくさへの問い直しともいえるでしょう。

また、現状は要支援者が対象の総合事業について、厚生労働省の省令改正により、要介護認定後の継続利用が可能になり、第 8 期介護保険事業計画に合わせて 2021 年 4 月から施行されます。そもそも多くの自治体で「総合事業」の住民主体サービスの受け皿づくりは進んでいません。住民主体のサービスは介護給付では提供できない多様な支援を提供するものであり、自主的な活動であればこそ利用者のニーズに応じた柔軟な対応ができるボランティアな活動です。その取り組みを広げていくために、制度の複雑さや手続きの煩雑さを軽減していくことが重要です。

人と人の接触は制限され、高齢者が孤立を深めたり、家庭内での密室化の課題が表面化してきている中で、これからの with コロナの時代、私たちは、安心や安全を市民の多様な知恵と工夫で作りあげていくことがますます重要になっています。

約 48 万戸(2018 年)に及ぶ神奈川県内の空き家(国土交通省では 1 年以上住んでいない、または使われていない家を「空き家」と定義している)は、今後も一層増加すると予測されています。また、空き店舗などさまざまな遊休建物や、少子化の影響で小学校の余裕教室(空き教室)も増えています。「居場所」等の運営には「場所」の確保と維持が最も重い課題であり、逆に「場所」さえあればさまざまな活動が生まれる可能性が広がります。遊休施設の有効な活用として市民の立場から「居場所」づくりを積極的に提案したり、行政による施設の提供などのハード面での協力を得ていくこともこの時代だからこそ検討すべき課題です。

地域の「居場所」づくりは、<「参加型福祉」の全体像>にある(P32)インフォーマルサポート領域で、人びとのつながり、結びつきを豊かにする活動であり、「たすけあい・支えあい」の多様な活動が生まれ、結び合わされて、地域の拠点ともなりうるものです。地域でのゆるやかなつながりをつくりながら、もう一度地域社会づくりの主体になっていくという意味と意義あるチャレンジだといえるでしょう。

## <提言(案)>

### 1. ゆるやかにつながりあえる「居場所」づくりに取組み、制度やサービスにゆだねてしまったたすけあいの関係を、小さく積み上げながら推進しよう。

近くの身近な空間や公共施設を使った「居場所」とアソシエーションづくりへのチャレンジ

- 子ども食堂等、子どもの居場所づくりや市民の自主的で公益的な活動を財政的に支援する基金・助成金は神奈川県内にも数多くあります。(別紙参照)
- (公財)かながわ生き生き市民基金の「たすけあい基金」による助成金、生活クラブの各コモンズを通して居場所づくりを行うアソシエーションへの支援を受けることができます。
- 介護予防を主な目的とした「通いの場」づくり：神奈川県内ほとんどの自治体で推進し、自治体ごとに何らかの支援を行っています。2021年改定では「通いの場」の数や機能の増強が柱になっています。
- 横浜市総合事業サービス B(訪問型、通所型)の取組み：補助金の使い道が限定され実態に合わないといった声もある一方で、補助金額が他の自治体や他の補助事業に比べて大きいので市内 69ヶ所(2020年10月)に広がっています。活動費、拠点の家賃補助があります。
- 活動を広げるために身近な自治体へ提案しよう。  
「居場所」や「子ども食堂」など地域の交流拠点づくりを行う市民の主体的な活動への支援
  - ・空き家を地域の交流拠点等として有効活用したい人と、借りたい人のマッチング支援
  - ・地域の交流拠点として活用している家屋等の家賃・固定経費支援

### 2. 空き家・空き店舗等を活用した「居場所」づくりと地域づくりにチャレンジしよう。

ふらっと立ち寄れる場所、子どもの存在を気にかけてくれる場所、だれとでもたわいないおしゃべりができる場所・・・そんな特別な場づくりにチャレンジしませんか。空き家を活用し、市民が集まって運営している居場所がいくつもあります。(P31 参照)

- 同じ志をもつ仲間を2人見つける。
- 空き家・空き店舗情報を集める。  
活用できそうな空き家が見つかったら専門知識をもつ団体への相談が有効 (P31 参照)
- さまざまな助成金・補助金を申請・活用する。

### 3. 多様なアソシエーションや「居場所」を生みだし、その実践をとおして政策提案に生かそう。

2021年度からの介護保険改定では「通いの場」づくりが改定の柱とされています。「介護保険財源の不足」「介護現場における労働力の不足」という2つの「不足」に対応する目的が見え隠れしていますが、実際市民が子どもや高齢者が直面している課題に直面して活動を立ち上げようとしても行政主導の画一的な制度では対応できないというのが総合事業のサービス B や「通いの場」の活動でも見られます。多様な活動を展開する地域の人びとの能動性を活かす地域構想とコーディネートが重要です。生活クラブ運動グループでは47団体が100を超える「居場所・サロン」に取組み、実践しています。総合事業に関わる行政施策についても学習を進め、市民活動の多様性・柔軟性を十分に活かすため、実践に基づいた政策提案を行いましょう。

<空き家活用事例>

●おもしろいハウス（横浜市南区中村町） 運営/NPO 法人おもしろいカンパニー

重い買い物袋を下げて坂を上るお年寄りの手助けができないかと 30 代のママ友 3 人で任意団体「おもしろい隊」を結成。買い物支援を始めた。小さい子がいても強制されずに自由に働ける場をつくりたいと、その後ヨコハマまち普請事業（助成 500 万円）へチャレンジ。築 60 年の空き家の改装費用が 960 万円かかり、まち普請事業で 500 万円、近隣からの寄付 60 万円、各種助成金が 220 万円、クラウドファンディング 189 万円を集めた。2019 年 10 月、軽食や駄菓子の販売を行う多世代交流の居場所「おもしろいハウス」をオープン。30 代～40 代の約 20 人、地域の高齢者の方、広報などで専門職もボランティア参加している。横浜市総合事業通所型サービス B を実施し、子どもから高齢者までの自然のふれあいができている。

◇ランチ提供、ママ・マルシェ（パンと野菜販売）、駄菓子、クレープ、小箱ショップ等々。

◇通所型サービス B 事業・プログラム名称『あそびにきてね』・毎週 1 回～2 回 10:00～12:00

◇訪問型サービス B 事業・『買ってくるね』毎週月曜日～金曜日

◎買い物支援：1 回 300 円または 500 円

◇子ども支援として、金曜日はカレーの日！を開催、子どもは無料、大人は 200 円で提供

●リトルファーム HOMMOKU もくり（横浜市中区本牧） 運営/もくり運営委員会

広い庭付きの古家（築 80 年）を、おおぜいの力を集めてピカピカに改装。ピザを焼く石窯も手作り。庭を耕し作物を植え、収穫してみんなで味わうイベント、レンタルスペース、講演会などなどさまざまなイベントを行いながら居場所を維持している。地域の人たちも参加する運営委員会をつくって運営。NPO 法人横浜プランナーズネットワークの支援により神奈川県かながわボランティア推進基金 21 の助成金を活用して、2018 年 10 月にオープン。

●フリースペースら・ぱれっと（茅ヶ崎市） 運営/フリースペースら・ぱれっと

2015 年 10 月にオープン。古い貸家（平屋）で「お母さんと赤ちゃんカフェ」は月 1 回、「ミシンカフェ」は月 2 回開催され、好きな時間にワンコインで使える場として提供されている。電動ミシンをはじめ、足踏みミシン、ロックミシンにアイロンまで常設、利用者は布や着物地などの材料を持参し、自分の好きな物作りに没頭し、おしゃべりも弾み、大人の居場所になっている。（公財）かながわ生き生き市民基金の助成等を活用。

<空き家の活用を支援する専門家の団体>

●オルタスクエア株式会社（生活クラブ生協・神奈川の住宅部門）

空き家や空き地の有効活用も視野に入れたアドバイスが可能

神奈川県空き家相談テキスト 2019.2 より

●NPO 法人横浜市まちづくりセンター/まちづくりや家づくり、住まいに関する相談に、経験豊かな建築士や宅地建物取引士が対応。「住まいまちづくり相談窓口」開設

●NPO 法人横浜プランナーズネットワーク/横浜をフィールドとして地域のまちづくりを支援している NPO。2007 年から空き家相談窓口を開設し地域に貢献する空き家活用を支援している。神奈川県内に空き家等を活用した居場所や活動拠点を運営しているワーカーズ・コレクティブの連合会と連携して、居場所等の開設支援にも取り組んでいる。



「参加型福祉」の全体像(イメージ)

企業・団体  
行政組織等

生活クラブ運動  
グループ各主  
体が実施する  
事業活動

サービスづくり・地域づくり

介護保険  
給付事業  
・サービス受給対象者／要介護1～5、要支援1・2  
・保険者は市町村、全国一律の基準、報酬単価適用

総合事業  
・対象者／要支援者、介護予防・生活支援サービス事業対象者(予防給付のうち訪問介護・通所介護)  
・事業主体は市町村 ・フォーマルサービス(サービスC:短期集中予防サービス含む)

現行相当  
訪問介護員による身体介護、生活援助  
通所介護と同様のサービス、生活機能向上のための機能訓練

訪問型・通所型サービスA  
緩和した基準によるサービス(生活援助、ミニデイサービス)

訪問型・通所型サービスB  
住民主体による支援(生活援助、通い等)

訪問型サービスD  
移動支援

コミ・オブ福祉／生活支援活動

- 家事介護(自主訪問)
- 食事サービス
- 移動サービス
- 居場所
- 福祉用具(自主事業)
- 共済・たすけあい

インフォーマルサポート  
領域

地域づくり(やりがい・生きがい・働きがい)

参加型福祉」のパートナー  
コミオブ・ソーシャルワーカー、ボランティア・ア  
ソシエーション

市民による自主的  
なコミ・オブ福祉(生  
活支援)活動

<市民社会>

「居場所」等に関する補助金・助成金(市町)

市町村	名称	内容	要件等(抜粋)	助成内容・金額	応募期間/事業実施期間
横浜市	よこはまふれあい助成金	令和3年度よこはまふれあい助成金<地域福祉保健計画区分>募集	原則として、横浜市に活動拠点を置き、横浜市の地域福祉促進のために事業を行う市民活動団体ならびにNPO法人		令和2年12月1日(火)～12月18日(金)
横浜市	横浜市子どもの居場所づくり立ち上げ等支援補助金	「子ども食堂」等市内における地域の様々な主体による自主的な子どもの居場所づくりを支援する	横浜市において実施する、以下に該当する取組 (1) 新たに子ども食堂等を立ち上げ、月2回以上継続的に活動を行うことが見込まれること、又は既に月2回未満で子ども食堂等を実施している場合に、月2回以上継続的に活動を行うことが見込まれること。 ※令和元年度内に「立ち上げ」、又は「実施回数」の増加(月2回以上)を行っている子ども食堂等が対象となります。 (2) 参加費が無料又は低廉(実費相当程度)であること。 (3) 過去に本事業補助金の交付を受けていないこと。	1取組あたり10万円以内	
川崎市	川崎市地域子ども・子育て活動支援助成事業	こども食堂事業、学習支援事業、乳幼児親子を対象とした居場所提供事業、子ども・若者を対象とした居場所提供事業等を実施する団体への活動経費の補助	地域の住民や団体等(町内会・自治会、PTA、民生委員児童委員、青少年指導員その他の地域ボランティア等)行政機関、学校や保育所等との連携により、地域の子どもが安全・安心に過ごせる居場所づくり等を行うものであること。	月1回以上/20万円、週1日程度/40万円、週2日以上/60万円、週4日以上/80万円	
相模原市	地域活性化事業交付金(各区ごと)	地域活性化事業交付金とは、より多くの市民の参加と協働による地域の活性化を目指し、本市のまちづくりを進めてきた22の地区で展開される市民による自主的な事業に対して交付される交付金	原則として交付金の趣旨に合致する事業を行う5人以上の構成員で組織される団体。	交付対象経費(交付率は10分の10以内)(抜粋) 事業に要する消耗品費等、事業を行う上で必要な食糧費、備品購入費、施設使用料、備品借上料等、施設等の光熱水費等、委託費等	4月1日から翌年3月末まで
平塚市	平塚市市民提案型協働事業(青少年指導・相談事業負担金)	今年度の資料なし			

茅ヶ崎市	茅ヶ崎市子ども未来応援基金	子どもの現在と将来が、その生まれ育った環境に左右されることなく、すべての子どもが夢と希望を持ち、子どもの健全育成を社会全体で支えるために「茅ヶ崎市子ども未来応援基金」を創設しました。	市内で開設し、及び運営するものであること 毎月1回以上開催すること。 無償又は低額（子どもは1食300円以下）で食事の提供を行うこと。 団体の構成員が食品衛生責任者の資格を有していること又は補助対象期間内に資格取得を予定していること。 茅ヶ崎市保健所に事業の実施内容について相談し、食品衛生管理等の指導・助言を求めること。	開設経費：10万円 運営経費：月毎の開催回数に応じた額×事業実施月数を上限とし、補助対象経費の2分の1以下の額	
小田原市	地域の見守り拠点づくり事業	食事の提供とともに、学習支援や体験活動を実施する「子ども食堂」型の地域の見守り拠点について、開設に必要な初期費用や運営費用の一部を負担	自治会や子ども会等、地域で子どものための活動を行っている団体、もしくは地域住民から構成される団体、該当の地域内に通勤する等その地域に恒常的に関わりがある代表者が主体となる任意団体であること。	初期経費：子ども食堂設置にあたり必要な備品等を購入する経費上限10万円 運営経費：子ども食堂運営にあたり必要な経費1万円×実施月数	
秦野市	秦野市子どもの居場所運営事業費補助金	秦野市では、様々な環境下におかれている子どもたちも含め、すべての子どもたちの健やかな成長を促進する環境づくりを目的に開設されている「子どもの居場所」に対し、運営事業費の一部を補助	市内において、当年度の4月1日以前から実施している実績を有し、かつ、当年度以降において1年以上継続して実施する意思及び計画があること。 団体の構成員が3名以上であること。	補助対象経費に2分の1を乗じて得た額とし、予算の範囲内において、1団体当たり1年度につき20,000円を限度とする。	R2.10/1～10/31
厚木市	厚木市市民活動推進補助金	ボランティアなどの公益的な市民活動を行う団体に、事業費の一部を補助します。	市民が自発的かつ自立的に活動している。 団体活動が不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的としている。 市内に主たる事務所又は活動拠点がある。 次年度以後も継続して活動する見込みがある。 構成員が3人以上いる。	1回目 補助対象経費の合計額の3分の2以内の額（限度額15万円） 2回目 補助対象経費の合計額の2分の1以内の額（限度額10万円） 3回目 補助対象経費の合計額の3分の1以内の額（限度額5万円）	令和2年度は終了 R2.5/1～6/30まで受付
大和市	子ども食堂支援事業（補助金）	子どもたちの「孤食」を少しでも減らすとともに、子どもが安心できる地域の居場所づくりと保護者への子育て支援を目的として、無料もしくは安価な料金で食事の提供等を行う「子ども食堂」を運営する団体に対し、運営費用の一部を補助しています。 ●食事提供事業●世代間交流事業または学習支援事業	・1年以上継続して子ども食堂を運営する意思及び能力を有すると認められること 市内で実施すること ・全ての利用者に利用登録をさせること ・毎月1回以上実施し、かつ、1回当たりの実施時間を3時間以上とすること ・1回当たり10食以上の食事を提供できる体制をとること	1. 初期経費 ■補助対象経費：事業を開始するにあたり整備すべき備品及び消耗品の購入費 2. 運営経費 ■補助対象経費：事業の実施に直接必要な経費（人件費、食材費、消耗品費など）	R2.9/13～10/14

綾瀬市	綾瀬市市民活動応援補助金（きらめき補助金）	<p><b>ひかり</b> 活動をはじめたばかりの団体（事業経費の100%以内で上限額10万円）</p> <p><b>かがやき</b> 既に活動している団体の活動を一層充実・発展するための支援（1～3回目：事業経費の80%以内で上限30万円、4回目：事業経費の50%以内で上限20万円、5回目：事業経費の25%以内で上限20万円）</p> <p><b>はばたき</b>(改正前のきらめき補助金交付要綱適用) 既に活動している団体が他の団体と協働することで相乗効果を発揮し、地域社会の活性化に寄与するための支援（補助上限額50万円）</p>			
寒川町	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するため、子育て支援に関する事業を行う団体に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。	<p>町内で子育て支援に関する事業を行う団体で、次のいずれにも該当する団体です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内を拠点として活動する団体</li> <li>・5人以上で構成される団体</li> <li>・構成員の半数以上が町内在住、在勤又は在学の者である団体</li> </ul>	30万円を限度として、1団体ごとに1年度につき1回とします。	
開成町	開成町子ども・子育て支援活動助成事業		今年度の要項記載なし。子ども食堂実施団体のみ掲載		
相模原市社協	子ども健やか育成事業(基金造成)	生活困窮世帯への支援の一環として、食事の提供を行う「子ども食堂」や学習支援を行う「無料学習塾」などの更なる広がりに向け、市内の非営利法人や団体が実施する福祉的課題を抱える子ども達の「居場所づくり」活動の促進を目的として助成制度を設けました。	<p>主として相模原市在住の福祉的課題を抱える子ども達の居場所づくりを実施する事業で、相模原市からの委託、補助及び本会の他の助成を受けていない事業</p> <p>(1) 相模原市内に活動拠点がある社会福祉法人、特定非営利活動法人、ボランティアグループなど、非営利団体（法人格の有無は問いません。）</p> <p>(2) その他、会長が認めた団体</p>	<p>(1) 事業立ち上げ経費 10万円以内 当該事業開始後2年未満の事業を対象に、1回のみ助成</p> <p>(2) 事業継続経費</p> <p>① 年間を通じて月2回以上事業を開催する場合40万円以内</p> <p>② 年間を通じて月1回以上事業を開催する場合30万円以内</p> <p>③ 学校の長期休暇期間等2か月程度の期間内に5回以上開催する場合20万円以内</p> <p>※ (1) と (2) は重複申請可能</p>	単年度予算額に応じて支援

「居場所」等に関わる補助金・助成金(民間)

	名称等	助成内容等	助成金額	事業実施期間	募集期間
公益社団法人キリン福祉財団	「キリン・地域のちから応援事業」	①子ども・子育て世代の福祉向上に関わるもの 子ども・子育て世代が主体となって実施する活動 地域やコミュニティの子ども・子育て世代を元気にする活動を応援します。 ②シルバー世代の福祉向上に関わるもの 高齢者が知識・技術・経験を活かして実施する活動 地域やコミュニティの高齢者を元気にする活動を応援します。	上限30万円	R3.4/1~R4.3.31	R2.9/7~10/31
公益財団法人さわやか福祉財団	『連合・愛のキャンパ』	新たに始める、地域における「ふれあい・助け合い活動」、高齢者・子ども・障がい児(者)を含めた地域ぐるみの助け合い・支え合い活動等。R1年10月1日以降に新たに立ち上がった団体、または既存の団体であっても、従来の活動に加えて新たに開始した事業。 ※既存活動の継続は対象としません。また特殊事案の専門的研究、趣味・娯楽・教養サークルに類する活動も対象にならないことがあります。	上限15万円		R2.11/30必着
公益財団法人さわやか福祉財団	公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金窓口」	地域で暮らす人同士の助け合い活動(つながりづくりを目的とした居場所・通いの場を含む)を対象とします。※活動の分野は、高齢者、子ども、認知症、障がい、生活困窮の方々、外国人、ケア家族の支援他、特定分野の制限はありません。ただし、日本国内の活動に限ります。	上限15万円		2020年5月18日から常時実施
公益財団法人愛恵福祉財団	社会福祉育成活動推進支援(助成事業)	社会福祉法人、NPO法人等が実施している事業のうち、比較的小規模な施設、または障害者支援等に財政的な裏付けの少ない先駆的な試みや開拓的な事業に対する助成。事業運営に必要な設備備品等の購入に対する助成	上限20万円		R2.9/15~11/15
NHK歳末たすけあい受配事業	「居場所づくり支援事業」	ボランティア・市民活動団体の地域での居場所づくりを支援。新規に加え、すでに居場所づくり活動をしている団体による、つながりづくりとしてのさまざまな形態での新たな取組みに対しても、申請可能	上限15万円		~R2.10/28

一般財団法人 自治総合センター	コミュニティ助成事業	1件につき次の額で10万円単位(10万円未満を切り捨て)とする。 ・青少年健全育成助成事業 30万円から100万円まで ・一般コミュニティ助成事業 100万円から250万円まで			令和3年4月1日以降に実施し、翌年3月31日までに完了するもの。
公益財団法人オックス宮内財団	子ども食堂ふれあい助成金	さまざまな事情による、子どもの"孤食"や"欠食"を防ぎ、地域ぐるみで子どもを大事にする場となる「子ども食堂」や「子ども等の居場所づくり」の取組みの充実にかかる経費の一部を助成する (1)子ども食堂の運営に対する助成 (2)子ども食堂の開設・拡充に伴う設備助成 【要件】子ども食堂を運営し、次に掲げる要件を満たす団体 (1)子ども食堂を特定の場所で月1回以上運営していること(ただし、子ども食堂を新たに運営する場合は、令和3年3月末までに子ども食堂を開設し、月1回以上の運営を計画していること) (2)団体固有の口座を有していること (3)主な活動先の市・区社会福祉協議会の推薦が得られること	両方で上限60万円		R2.10/1~11/2
キューピーみらいたまご財団	食を通じた居場所づくり支援	「子ども食堂」などの食を通じた居場所づくりを行う公益的な団体の立ち上げ支援や設備購入、そして活動定着に向けたネットワーク形成へ助成を行います。 食の提供や料理・共食などの食の体験に積極的に取り組む「子ども食堂」などの居場所作り支援活動 (食育/親子・共食体験/多世代交流/学習支援/子どもの貧困/ネットワーク形成支援・啓発活動)深い関わりのある中間支援団体(子ども食堂ネットワーク、サポートセンター、フードバンク等)で、子ども食堂に食材を提供するために必要な什器、備品、冷凍冷蔵庫などを購入される費用も助成対象	上限70万円		R3.4/1~R4.3/31
カゴメ未来やさい財団		a.子ども食堂継続応援コース(1団体上限50万円。56団体程度を助成) i.子ども食堂が行う居場所作り等事業。 b.子ども食堂スタートアップ応援コース(1団体上限10万円。20団体程度を助成) i.2021年4月以降に新しく「子ども食堂」を開設され、居場所等を提供する事業	上限50万円(スタートは10万円)		R3.4/1~R4.3/31



# 資 料 編

- |                                     |      |
|-------------------------------------|------|
| 1. 2019年度総合事業に関する調査のまとめ（訪問事業・通所事業）他 | p 40 |
| 2. 2019年度生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ | p 45 |
| 3. 2019年度コミ・オプ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ    | p 53 |
| 4. 2019年度福祉事業実績集約表                  | p 59 |
| 5. 2019年度総合事業に関する調査票                | p 60 |
| 6. 2019年度居場所・サロン場調査票                | p 61 |
| 7. 2019年度コミ・オプ福祉の地域連携に関する調査票        | p 63 |



2019年度 総合事業に関する調査のまとめ (訪問事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
1	横浜市	くまさん	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
2	横浜市	ふれあい都筑	訪問	現行相当	有	34	介護保険同様
3	横浜市	たすけあい戸塚	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
4	横浜市	たすけあい栄	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
5	横浜市	たすけあい栄	訪問	サービスA	有	30	介護保険同様
6	横浜市	みらい	訪問	現行相当	有	17	介護保険同様
7	横浜市	オリーブ	訪問	現行相当	有	8	介護保険同様
8	横浜市	たすけあいせや	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
9	横浜市	たすけあいぐっぴい	訪問	現行相当	有	16	包括からの依頼があれば受けています
10	横浜市	たすけあいぐっぴい	訪問	サービスA	有	0	積極的に受けてはいませんが、該当する利用者がいれば受けます。
11	横浜市	たすけあい磯子	訪問	現行相当	有	12	
12	横浜市	たすけあい磯子	訪問	サービスA	有	18	
13	横浜市	たすけあい心	訪問	現行相当	有	43	
14	横浜市	たすけあい心	訪問	サービスA	有	0	申請は出しているが、対応できるヘルパーがいないため、断っている状況
15	横浜市	たすけあい皆人	訪問	現行相当	有	7	
16	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	現行相当	有	11	
17	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	サービスA	有	2	
18	横浜市	W. Coいずみ	訪問	現行相当	有	29	介護保険同様
19	横浜市	W. Coいずみ	訪問	サービスA	有	20	介護保険同様
20	横浜市	W.Co絆	訪問	現行相当	有	18	介護保険同様
21	横浜市	W.Co絆	訪問	サービスA	有	0	
22	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様
23	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	サービスA	有	0	
24	横浜市	W. Coさざん	訪問	現行相当	有	13	介護保険同様
25	横浜市	W.Coエブロン・みどり	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様
26	横浜市	W.Coエブロン・みどり	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様
27	横浜市	W. Coいこい	訪問	現行相当	有	22	介護保険同様
28	横浜市	W. Coいこい	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
29	横浜市	W.Coりぼん	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
30	横浜市	W.Coりぼん	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
31	横浜市	W.Coおひさま	訪問	現行相当	有	7	介護保険同様
32	横浜市	W.Coおひさま	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
33	横浜市	W.Coびいす	訪問	現行相当	有	16	介護保険同様
34	横浜市	W.Coゆかり	訪問	現行相当	有	10	介護保険同様
35	横浜市	W.Coゆかり	訪問	サービスA	有	0	
36	川崎市	生活リハビリクラブ 鴨居	訪問	現行相当	有	8	介護保険同様
37	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様
38	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
39	川崎市	生活リハビリクラブ幸	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
40	川崎市	くるみ	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
41	川崎市	ばんじい	訪問	現行相当	有	37	介護保険同様
42	川崎市	たすけあいまりん	訪問	現行相当	有	3	介護保険同様、川崎では訪問型サービスという。
43	川崎市	グループとも	訪問	現行相当	有	24	介護保険同様
44	川崎市	W.Coあやとり	訪問	現行相当	有	14	介護保険同様
45	川崎市	W.Coあやとり	訪問	サービスA	有	0	
46	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	現行相当	有	13	介護保険同様
47	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	サービスA	有	0	
48	川崎市	W.Coさんさん	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
49	川崎市	W.Coさんさん	訪問	サービスA	有	0	
50	川崎市	W.Coにじ	訪問	現行相当	有	17	介護保険同様
51	川崎市	W.Coにじ	訪問	サービスA	有	0	
52	川崎市	W.Co菜	訪問	サービスA	有	0	
53	相模原市	はっぴー	訪問	現行相当	有	39	介護保険同様
54	相模原市	はっぴー	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様
55	相模原市	ベル	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様
56	相模原市	W.Coあいわ	訪問	現行相当	有	26	介護保険同様
57	相模原市	W.Coあいわ	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様
58	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	現行相当	有	29	介護保険同様
59	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	サービスA	有	0	

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
60	海老名市	あい	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様
61	逗子市	こだま	訪問	現行相当	有	13	介護保険同様
62	逗子市	こだま	訪問	サービスB	有	2	補助金事業、1時間1400円、掃除・片付け・買い物等
63	葉山町	生活リハビリクラブ葉山	訪問	現行相当	有	5	介護保険同様
64	葉山町	くるまやさん	移動	サービスD	有	19	通所型サービスB及び一般介護予防事業対象サロンへの送迎。3団体のサロン事業の予定に合わせコーディネートし送迎を担当 サロン参加者をサロン実施前日までに連絡いただく。
65	鎌倉市	W.Coであい	訪問	現行相当	有	60	介護保険同様
66	鎌倉市	W.Coであい	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様
67	逗子市	W.Coよつ葉	訪問	現行相当	有	37	介護保険同様
68	藤沢市	W.Coえんじよい	訪問	現行相当	有	34	介護保険同様
69	藤沢市	W.Coえんじよい	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様
70	藤沢市	ポパイ	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
71	藤沢市	ポパイ	訪問	サービスA	有	1	介護保険同様
72	藤沢市	実結	訪問	現行相当	有	26	介護保険同様
73	藤沢市	実結	訪問	サービスA	有	46	介護保険同様
74	藤沢市	ラポール城南	訪問	現行相当	有	5	介護保険同様
75	平塚市	地域介護サービスセンターラポール平塚	訪問	現行相当	有	1	介護保険同様
76	平塚市	笑顔	訪問	現行相当	有	10	訪問介護・障がいサービスと同様に依頼時、対応できるヘルパーがいたら、可能な限り受けている。分配金は他の事業と同額。
77	平塚市	笑顔	訪問	サービスA	有	34	同上
78	茅ヶ崎市	一心	訪問	現行相当	有	33	介護保険同様
79	茅ヶ崎市	一心	訪問	サービスA	有	15	介護保険同様
80	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様

## 2019年度 総合事業に関する調査のまとめ

(通所事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
1	横浜市	生活リハビリクラブ 鴨居	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
2	横浜市	くまさん	通所	現行相当	有	5	介護保険同様
3	横浜市	たすけあい心	通所	サービスB	有		2019年4月からコミュニティルームここを会場に実施
4	横浜市	たすけあい磯子	通所	現行相当	有	6	
5	横浜市	たすけあいぐっぴい	通所	サービスB	有	12	要支援対象者は4名ですがその他の方は1回に8名ぐ らいの参加あり
6	横浜市	オリーブ	通所	現行相当	有	6	介護保険同様
7	横浜市	まいそる	通所	現行相当	有	22	介護保険同様
8	横浜市	Dayひよし Dayにつば	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
9	横浜市	きらり港北	通所	サービスB	有	14	2018年10月より実施。毎週水曜日、午前 要支援2人、65歳以上12人
10	横浜市	Dayふかや	通所	現行相当	有	11	介護保険同様
11	横浜市	Dayいのやま	通所	現行相当	有	6	介護保険同様
12	横浜市	Dayいのやま	通所	サービスB	有	7	
13	横浜市	デイサービスセンター ラポール西寺尾	通所	現行相当	有	5	介護保険同様
14	横浜市	W. Co協会	通所	サービスB	有	2	理事3人と事務局1名、ボランティア3人 コミュニティ食堂や各種講座もこの事業の中に位置 付けている。
15	川崎市	グループとも	通所	現行相当	有	0	介護保険同様
16	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	通所	現行相当	有	15	介護保険同様
17	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	通所	サービスA	有	0	介護保険同様
18	川崎市	生活リハビリクラブ幸	通所	現行相当	有	2	介護保険同様
19	川崎市	Dayかしまだ	通所	現行相当	有	5	介護保険同様
20	相模原市	生活リハビリクラブ 橋本	通所	現行相当	有	5	介護保険同様
21	逗子市	こだま	集いの場	逗子市地域介護 予防活動	有	15	こだまメンバーの賛助会員で運営。2020年度は市の 補助金申請はせず、会費とこだま資金で運営 手芸・トランプ・麻雀などを行う。
22	葉山町	生活リハビリクラブ葉山	通所	現行相当	有	10	介護保険同様
23	鎌倉市	Day大町いしだ Dayサロンはる	通所	現行相当	有	16	介護保険同様
24	藤沢市	地域交流室「ばらそ る」(実結)	居場所	藤沢市地域の縁 側事業 (基本型)	有		月1回ばらそる運営会議を開催 月12回程度開催し、参加団体がそれぞれ企画して 行っている。
25	藤沢市	交流スペースほっと舎 (ほっと舎アルク)	居場所	藤沢市地域の縁 側事業 (基本型)	有		
26	藤沢市	Dayいちいの木	通所	現行相当	有	4	介護保険同様
27	藤沢市	地域の縁側事業(はま ゆう)	居場所	藤沢市地域の縁 側事業 (特定型)	有		
28	藤沢市	地域介護サービスセン ターラポール藤沢	通所	現行相当	有	20	介護保険同様

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
29	藤沢市	地域ささえあいセンターかるがも(城南)	居場所	藤沢市地域の縁側事業(基幹形)	有	30	藤沢市からの委託業務。法人内の在宅介護支援センター事業の一部として実施している。介護予防教室として、軽体操、脳トレ等を行っている。
30	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
31	平塚市	TOMO	通所	現行相当	有	1	介護保険同様

生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ (2019年度)

2020年7月現在 参加型福祉研究センター

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年 (助成事業)	事業高/年 (委託事業)	事業高/年 (自主事業)	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制 かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
1 横浜市緑区	W.Coくまさん	花ようサロン	介護予防	高齢者	鴨居地域ケアプラザ	横浜市緑区鴨居5-29-8(地域ケアプラザ) 有料			80,000	80,000	202,900	月1回	有料 100円	特定メンバー	1人:3h分 3人:2h分 97317円	転倒予防体操、ボランティアによるいろいろな催し(フラダンス、コーラス、大正琴等)鑑賞や折り紙で作品作り等
2 横浜市緑区	W.Coくまさん	くまさんサロン	交流	子ども(親子)・地域住民		横浜市緑区白山3-1-9		7,100	7,100	10,579	年数回	有料 食事代	希望者	1回目 8370円 2回目 7864円 計16,234円	地域野菜を使ったカレーライスを大人300円・子ども100円で提供	
3 横浜市緑区	生活リハビリクラブ 鴨居運営会議(組合員とW.Coひまわり)	鴨カフェ(日曜日の居場所)	交流	誰でも	ボランティア	横浜市緑区鴨居町2430-1				8,000	月1回	有料 参加費100円 お茶代100円	特定メンバー	無し	参加費100円、お茶代100円 地域の方のお茶のみの場として講座(ヨガ)開催後、コーヒーを飲んでいる。	
4 横浜市緑区	生活リハビリクラブ 鴨居運営会議(組合員とW.Coひまわり)	こどもごはん	子ども食堂	子ども(親子)	アソシエーションてらこやとボランティア	横浜市緑区鴨居町2430-1					月1回	有料 大人300円 子ども100円	特定メンバー	無し	アソシエーションてらこや(学習支援団体)と共催で「こどもごはん」を開催。子どもと一緒に調理し、昼食をとる。	
5 横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*サロン	交流	誰でも		るるる*緑館					月1回第4日曜日 PM	無料	リーダー層+α	無し	地域の方へ活動を知らせる。居場所づくり	
6 横浜市緑区	緑地域協議会準備会+十日市場がアサ	るるる*カフェオアシス	認知症サポート	高齢者・家族	地域ケアプラザ	るるる*緑館					月1回第5日曜日 AM	無料	リーダー層+α	無し	ケアプラザと共に企画。域の方への居場所づくり。認知症カフェ。(家族の方と本人)	
7 横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*キッチン	その他(食の広報)	誰でも		るるる*緑館					年3~4回	無料	リーダー層+α	無し	地域に消費材の良さを知らせる	
8 横浜市青葉区	青葉連絡会議	サロン	交流	誰でも		家事介護W.Coここあ事務所					月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、地域の方に活動・拠点を知らせる。消費材の紹介や健康チェックも実施	
9 横浜市青葉区	W.Coパレット	青葉区子育て支援拠点ラフル・ラフルサテライト	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉台1-4ラフル市ヶ尾町1152-25サテライト	67,614,896		67,614,896	65,000,000	週4日以上	無料	全員が交代	年間45,663,875円	ひろば運営、子育て相談、青葉区内の子育て情報の収集と提供、地域で子育てを支えあうネットワークづくり、子育てに関する研修会や講座開催を通して人材育成、横浜子育てサポートシステム事務局、横浜子育てパートナーと呼ばれる相談専任スタッフの配置	
10 横浜市青葉区	W.Coパレット	親と子のつどいの広場びよびよ	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉区あざみ野南2-4-8-207	5,381,000		179,923	5,560,923	5,490,000	週4日以上	有料 年間登録1,000円、 利用料1ヶ月券 1,000円1回券200円	全員が交代	年間3,425,049円	横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 ・子育て親子の交流、つどいの場の提供 ・子育てに関する相談の実施 ・地域の子育て関連情報の収集・提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施
11 横浜市青葉区	W.Coパレット	親と子のつどいの広場ふーぶーしえすた	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉区美しが丘1-12-16-101	5,435,000		314,904	5,749,904	5,531,000	週4日以上	有料 年間登録1,000円、 利用料1ヶ月券 1,000円1回券200円	全員が交代	年間3,449,976円	横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 ・子育て親子の交流、つどいの場の提供 ・子育てに関する相談の実施 ・地域の子育て関連情報の収集・提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施
12 横浜市都筑区	W.Coふれあい都筑	ふれあいサロン	交流	誰でも		横浜市都筑区荏田南5-8-17(自前・貸会場)					50,000	年数回	無料	全員が交代	無し	近くの障害者施設で年2回コンサートなどイベントを行う
13 横浜市都筑区	W.Co 円	リフレッシュ心楽	交流	高齢者・その他(ご家族・付き添い・活動ボランティアなど)		横浜市都筑区中川中央1-39-111&Sハウス港北内		561,800	561,800	573,068	週1回	有料 300円	特定メンバー(60歳以上)	担当手当て 月2000円×8人	コーラス 手芸 映画鑑賞 脳トレ お茶の会など(水道光熱費として500円/回)	
14 横浜市保土ヶ谷区	いきいき福祉会	オレンジカフェ「三ツ沢サロン」	認知症サポート	地域の高齢者とその家族	W.Coむすび、くつくSUM、地域ケアプラザ、自治会	ラポール三ツ沢		60,000	60,000		年5~6回	200~300円	特定メンバー	無し	「地域で暮らす認知症のある人と、その家族を支援する地域の場」としての役割を果たすため。また特設が「地域の相談支援センター」の役割も担うために活動している。「終活をテーマとした勉強会」「防災の知識と実践的対応を学ぶ」等のテーマを扱ったり、「オレンジカフェ」としてのプログラムを行っている。	
	W.CoくつくSUN・W.Coむすび・				いきいき福祉会 W.Coむすび		10,000	10,000						組織活動費800円/1h、むすびは1,000円/1h	防災食について学んで試食 脳トレ等、余暇活動おしるこを食べながら談話	
15 横浜市保土ヶ谷区	W.CoくつくSUN・W.Coむすび	ラポールシアター	交流	誰でも		ラポール三ツ沢					2ヶ月に1回程度	150円お菓子代含む	特定メンバー	組織活動費800円/1時間	DVDを借りて上映。終了後お茶で歓談。	
16 横浜市港北区	W.Coパートナーメンバーと地域住民	華の会	交流	主に町会住民		横浜市港北区高田西3(高田町会研修所)					月1回	有料 お茶代100円	主に三沢と参加者全員	無し	朗読会・体操・歌・ウクレレ・好きなこと・13時半から15時半(会場費は免除されている)	
17 横浜市港北区	住まいのワーカーズ・コレクティブ+one	ほっと菊名サロン	交流	誰でも		菊名コミュニティハウス 多目的室(無料)		11,000	11,000	3,000	年数回	有料 材料費・保険料の実費	特定メンバー	無し	地域の人たちが出会い、つながり、健康で生き生きと暮らすお手伝いをする。交流の場を作る。 ・キックボクシング体操・パッチワーク小物づくり・盆踊り練習・港北区昔話お散歩・切り絵で干支を楽しむ・パーソナルカラー講座	

	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
								(助成事業)	(委託事業)	(自主事業)							
18	横浜市港北区	子育て支援 W.Co monami	わっとほーむ	子育て支援	親子		横浜市港北区 新横浜2-8-4 4階 わっとほーむ			1,087,642	1,087,642	794,714	週2~3回	有料 登録料年500円、 利用料1回300円	全メンバー	1回1000円と 交通費	季節ごとのイベント（お花見、母の日の工作・父の日の工作・七夕・フルル・夏祭り・敬老の日工作・ハロウィンパーティー・豆まき鬼退治など）
19	横浜市港北区	W.Co路	うるびーサロン	交流	高齢者		横浜市港北区日 吉5-21-31 日吉センター			1,204,100	1,204,100	1,041,674	月10回程度以上	有料	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的、企画内容により利用金額は異なる。 ※屋外は、バードウォッチングや散策等、詳しい方を講師に企画として開催している。
20	横浜市港北区	港北地域協議会	ふく茶きらり	交流	高齢者	地域包括支援センター	さくら港北	600,000			600,000	600,000	月4回	無料	リーダー層+a	無し	横浜市総合事業通所B
21	横浜市港北区	港北地域協議会	カフェローズ	交流	誰でも		組合員宅			13390	13390	13390	月1回	有料(100~300円)	リーダー層+a	無し	体操や講座、お茶
22	横浜市港北区	港北地域協議会	サロンみち	交流	誰でも		地域包括支援センター			13390	13390	13390	月1回	有料(100~300円)	リーダー層+a	無し	体操や講座、お茶
23	横浜市神奈川区	神奈川地域協議会	リアンカフェ	交流	誰でも		地域包括支援センター			46000	46000	46000	月2回	有料(100円)	リーダー層+a	無し	試食や体操、健康チェック
24	横浜市神奈川区	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会	反町カフェボラン	交流・会食・認知症サポート、その他(カフェ事業・総合相談・就労支援・横浜市就労準備の事前講座)	誰でも(親子・高齢者・生活困窮者)		横浜みなみ生活クラブ・福祉クラブ・アパザ・神奈川区役所・区社協、地域の中学校・就労継続Bキックタイム)	1,800,000	300,000	4,619,250	6,719,250	7,800,000	週4日以上	有料	特定メンバー	リーダーは協会の雇用、他は有料ボランティア	カフェ事業を中心とした居場所事業。さらに維持するため、総合事業通所Bを予定。相談事業、コミュニティ食堂、地域の人向け講座、横浜市就労準備支援事業の事前講座会場としても利用
25	横浜市西区	W.Co たすけあいぐっぴい	サロン「ばあばの家あさだ」	交流	誰でも	地域ケアプラザ・区社協・地域活動支援センター・第4地区社協	横浜市西区境之谷30-6			319,906	319,906	524,055	週1回	有料 200円	特定メンバー	1,100円/回	多世代交流サロン
26	横浜市西区	W.Co たすけあいぐっぴい	ぐらんまのいえ	子育て支援	親子	地域ケアプラザ・地域の子育て事業者・西区役所	横浜市西区境之谷30-6	3,778,000		106,400	3,884,400	3,994,829	週3回	有料 200円	全員が交代	1,100円/1時間	親と子のつどいのひろば事業
27	横浜市西区	W.Co たすけあいぐっぴい	サービスB	介護予防	高齢者	地域ケアプラザ・町内会・西区社協・西区役所	横浜市西区境之谷30-6	600,000		175,100	775,100	775,100	週1回	有料 200円	特定メンバー	コーディネーター 1,300円/回	要支援者・高齢者の介護予防 参加費1回200円
28	横浜市栄区	W.Coたすけあい栄	たまり場	交流	誰でも		たすけあい栄事務所			24,000	24,000	24,000	月1回	無料	全員が交代	無し	サロン 10時~15時開催。会員と地域の方に会場を開放。自由に過ごしていただく準備・片付けなどは参加者みんで行う。
29	横浜市栄区	栄子育て支援W.Coスキップ	スキップひろば	子育て支援	子ども(親子)		スキップ保育室						月1回	無料 (企画：材料実費)	リーダー層+a	無し	親子ひろば
30	横浜市栄区	栄地域協議会	いのやまサロン	交流	誰でも		D a y iのやま			35,000	35,000	35000	月1回	100円	リーダー層+a	無し	体操や講座、お茶
31	横浜市栄区	栄地域協議会	カフェハーモニー	交流	高齢者	地域包括支援センター	D a y iのやま	600,000			600,000	600,000	月1回	無し	リーダー層+a	無し	横浜市総合事業通所B
32	横浜市戸塚区	W.Coたすけあい戸塚	ふれあい広場よつば	交流・子育て支援・その他	誰でも		横浜市戸塚区上倉田町391-5 T&Rハウス1階			410,000	410,000	1,491,000	週4日以上	無料・有料 企画により材料実費100~300円	リーダー層・元メンバー	1,100円/回	ケーキ・お茶の自由な日 折り紙月2回、麻雀月1回、編み物月2回、よつばサロン月1回、親子サロン月1回、バザール月1回、介護相談日 月~金13:00~16:00
33	横浜市戸塚区	W.Coまいそる	健康マージャンの会	交流	誰でも		戸塚区上柏尾町 244番地 デイサロン 花りん					10,500	月2回	有料 フロアー 使用料500円	全員が交代	1,000円/回	第2、第4日曜日 健康マージャン (貸会場1回500円) デイサービス休み時フロア活用

	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
								(助成事業)	(委託事業)	(自主事業)							
34	横浜市戸塚区	W.Coまいそる	「花りの木のうで」	交流	誰でも	地域包括職員・近隣民生委員	戸塚区上柏尾町244番地		481,100	481,100	481,100	116,294	年数回	有料 100～500円	地域福祉担当者	1人1,000円/回	コンサート2回、講座2回、カフェ8回、外部利用ミニコンサート2回 花りんお出かけ年1回 町内納涼祭カレー出店(人件費52,450円、コンサート謝礼1回15,000円、他48,844円)
35	横浜市戸塚区	W.Coまいそる	フレアカーサ(高齢者専用賃貸住宅)活用	交流	誰でも	地域の施設民生委員	戸塚区品濃町296番地(自前)					370,000	月1回	有料 カレー300円	地域福祉担当者	生活援助員1日(9～4)3,500円	生活援助業務週2回、カレーランチ1回、花札・折り紙教室2回 経費は生活支援員人件費年間分、1室事務所の無償提供
36	横浜市戸塚区	W.Coみんなの家	オープンデイ	交流	誰でも		D a y ふかや						月3回	無料	リーダー層+α	無し	地域の居場所拠点やデイサービスの紹介を通しての地域交流
37	横浜市戸塚区	戸塚地域協議会		交流	誰でも		にじの家			120,000	120,000	120000	月1回	無料	リーダー層+α	無し	地域の子育て拠点の紹介を通しての地域交流
38	横浜市鶴見区	W.Coたすけあいつるみ	さろんえんがわ	交流	誰でも		横浜市鶴見区馬場2-12-21					50,000	月1回	有料 1回100円	特定メンバー	無し	9:00～12:00 麻雀・作品作り・映画会 経費はつるみから
39	横浜市港南区	港南たすけあい心	コミュニティルームここ	交流(誰もがくつろげる居場所づくり)	誰でも		横浜市港南区野庭町665-1-113	2,200,000		2,700,000	4,900,000	5,130,000	週4日以上	有料(教室参加費及び食事代600円、オレンジカフェ400円、寺子屋100円等)	全員が交代	1h:1,000円	各種教室(手芸・体操・麻雀・歌声喫茶・レコード鑑賞)、リユース販売、食事会、カフェ、寺子屋、オレンジカフェ等 事業高自主事業には、280,000円の寄付が含まれています。 港南たすけあい心のメンバーが加わりました
40	横浜市港南区	NPO法人ワークス・コレクティブ協会	居場所ぼらん	交流・その他	生活困窮者		横浜市港南区港南中央2-17-61-429 パークコート プラザコート429号		10,000		10,000		週2～3回	無料	リーダー層	有実働分	今は、横浜市の就労準備支援事業での事前講座が主。それ以外にはつびいさんの集まりや実習した人の同意会などに利用している。 神奈川区の居場所では、相談、カフェ、就労準備講座(自主)、コミュニティ食堂、生活支援総合事業B型など展開。今の場所は坂の上とマンションのため、いつでもオープンという形にはなっていない。経費は、就労準備支援事業の中に含まれる。
41	横浜市金沢区	W.Coオーリーブ	NOAHサロンミニコンサート	交流	高齢者		横浜市金沢区柳町3-16			14,100	14,100	9,342	年数回	有料 参加費200円 その他材料費	特定メンバー	当日(3人) 1.5h×984円	レクリエーション、運動、歌、ゲーム、制作等
42	横浜市金沢区	W.Coオーリーブ	NOAHサロン	交流	誰でも	W.Cコンパス	横浜市金沢区柳町3-17			16,500	16,500	8,835	年数回	有料 500円 お茶、菓子代	特定メンバー	当日(4人) 1.5h×984円	アコーディオンとギター演奏&みんなで歌いましょう ブザルタ演奏会(オーリーブ・コンパスと共催)
		横浜市金沢区柳町、金沢文庫(カフェギヤラリー)ばおぼぶ、デイサービスセンター(NOAH)							45,833	45,833	38,596	有料 チケット代1,500円		400円/h			
43	横浜市金沢区	W.Coコンパス	うたごえ	交流 健康維持 情報交換	誰でも		横浜市金沢区柳町(柳町地域ケアプラザ)			89,500	89,500	73,640	月1回	有料 500円 お茶・お菓子	特定メンバー	400円/h	伴奏者はメンバー外、年2回謝礼有
44	横浜市金沢区	W.Coコンパス	健康麻雀	交流 介護予防 健康維持	誰でも		デイサービスセンターNOAH、柳町地域ケアプラザ			680,500	680,500	389,744	週2～3回	有料 1h250円	特定メンバー	400円/h	参加費:1時間250円 1回、4時間を設定しているが、参加時間は自由
45	横浜市金沢区	W.Coコンパス	食事会(ホットスペース)	交流	高齢者	ボランティア	横浜市金沢区柳町(ケアプラザ多目的ホール)			217,800	217,800	159,507	月1回	有料 600円	特定メンバー	400円/h	ケアプラザとの共催企画。食後に催し物あり。 定員25名、7/7/7からは4000円×11ヶ月(交通費)
46	横浜市磯子区	W.Coハッピーママプロジェクト	親と子のひろばだっこ	子育て支援	親子		横浜市磯子森5-16-15丸八ビル101	5,204,000		166,154	5,370,154	5,370,154	週4日以上	有料 利用料1日会員200円	全メンバー	シフト制・時給制による 賃金支払い	親子が安心して過ごせる居場所の提供
47	川崎市麻生区	W.Co こもれび	ザ・キルト	交流	パッチワーク好きな人		川崎市麻生区東百合丘3-2-7 デｲｰﾋﾞｽﾄﾗﾌﾞ					6,400	月1回	有料 100円	特定メンバー	担当者1名 1,000円/月	パッチワークの好きな人が集まり、おしゃべりしながら楽しく各自持ち寄ったパッチワークを行う。地域のたまり場の役割をしている。
48	川崎市麻生区	麻生運営会議(生活リハビリが麻生)こもれび	カフェひなたぼっこ	認知症サポート・その他(地域のみ)	誰でも	百合丘地域包括支援センター	川崎市麻生区東百合丘3-2-7 デｲｰﾋﾞｽﾄﾗﾌﾞ					22,600	月1回	有料 100円と材料費	全員が交代、別途担当1名	担当者:2000円/月	折り紙・ボーリング大会・パステルシャインアート・フラダンス・流しそうめん・笑いヨガ・新聞紙でバッグを作る・カラオケ・クリスマスの飾りづくり&ケーキを作って食べる・新春お茶会・ママーレードづくり
49	川崎市麻生区	麻生運営会議(こもれび)	ワイワイごはん	会食交流	誰でも	百合丘地域包括支援センター	リハビリクラブ麻生2F会議室						隔月	有料 大人300円 子ども100円	全員が交代、別途担当1名	無し	ちらし寿司・餃子づくり・防災クッキング・牛乳いっぱいシチュー・豆乳鍋
50	川崎市麻生区	麻生運営会議(こもれび)	ワイワイカフェ	会食交流	誰でも	百合丘地域包括支援センター	リハビリクラブ麻生2F会議室						隔月	有料 150円	特定メンバー	無し	トライフル・まぜまぜデザート・どら焼き・蒸しパン・お汁粉



	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年 (助成事業)	事業高/年 (委託事業)	事業高/年 (自主事業)	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制 かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
51	川崎市麻生区	W.Coグループとも	みんなの居場所「はなもも」	交流	誰でも		川崎市麻生区 王禅寺西1-25-4			769,013	769,013	3,588,051	週4日以上	有料 企画により200～500円	全員が交代	700円/回	居場所での趣味のサークル、講演会、コンサート
52	川崎市麻生区	W.Coグループとも	おしゃべり会「ほおずき」	交流	誰でも		川崎市麻生区 王禅寺西3-26-6			11,900	11,900	11,900	月1回(第2土曜)	有料 お茶代100円	その他	無し	おしゃべり会参加者が自主的に行っています。
53	川崎市麻生区	W.Coグループとも	ミニデイサロンの花会	会食	誰でも		川崎市麻生区 王禅寺西3-26-6			103,745	103,745	103,745	月1回(第1土曜)	有料 昼食代1,000円	全員が交代	2500円	食事会
54	川崎市多摩区	W.Coくろみ	くろみカフェ	交流	誰でも	地域包括支援センター	くろみ事務所					50,000	月1回	有料 200円	有志	無し	居場所での趣味のサークル、講演会、コンサート、茶話会、折り紙、かるた、絵手紙等経費は、タウン誌掲載・チラシ印刷・ポスティング他
55	川崎市多摩区	W.Coくろみ	地域交流会	交流	誰でも		くろみ事務所隣の合気道道場					50,000	年4回	有料 500円	全員が交代	担当者のみ2000円、交通費400円	フラダンス・ビンゴ大会・シャンソンミニコンサート・手品ショー 経費は、チラシ印刷、ポスティング、イベント等
56	川崎市多摩区	W.Coかりん	かりん倶楽部	会食	高齢者		川崎市多摩区						月1回	有料 食事代として500円	特定メンバー	有	体操、皆で歌をうたう、手芸、折り紙など季節の行事にあわせた物を作る。
57	川崎市多摩区	W.Coやどりき	上布田カフェ	交流	誰でも (地域の老人会)		川崎市多摩区 布田29-10 上布田つどいの家					50,000	月2回	有料 コーヒー・ケーキ300円	特定メンバー	900円/h (13時～16時)	交流カフェ：コーヒー・ケーキで談笑、全員で歌・紙芝居・手品・指体操等で楽しむ スタッフは担当を決めている
58	川崎市多摩区	W.Coやどりき	手芸サークル	交流	誰でも		川崎市多摩区 布田29-10 上布田つどいの家					25,000	月1回	有料 500円(生地・お茶・お菓子代)	特定メンバー	900円/h (13時～16時)	5～10人参加 スタッフが事前準備をして作る作品を決める。
59	川崎市多摩区	W.Coやどりき	健康マージャン	交流	誰でも		川崎市多摩区 布田29-10 上布田つどいの家					25,000	月1回	有料 300円 お茶代	特定メンバー	900円/h (13時～16時)	麻雀台2～3台を用意し、自由に行う。
60	川崎市多摩区	W.Coやどりき	ラディッシュ(園芸サークル)	交流	誰でも		施設の庭						月1回	無料	特定メンバー (スタッフ・ボランティアも参加)	900円/h (9:30～11:30)	8～10名 施設周辺の草むしり、施設の畑に野菜・花を植える・終わった後にお茶とお菓子で談笑
61	川崎市多摩区	W.Coやどりき	工作・科学教室	学習支援	子ども		自前の会場						月2～3回	有料 材料費のみ	特定メンバー	900円/h (9:00～12:00)	親子を対象にモノづくりや科学的現象をベースにした工作物を作る
62	川崎市多摩区	多摩連絡会議	たまたまサロン	交流	その他 (男性介護者)		ピアタウン・たま						年6回	無料	リーダー層+α	無し	男性介護者の集い、単料理教室等その都度テーマが異なる。最近では健康チェックも同時開催
63	川崎市中原区	W.Coばんじい	ダブルケアカフェ	交流	誰でも	地域包括支援センター	川崎市中原区木月3-5-22ホワイトパレス102 ふれあいデイばんじい						年数回	無料	リーダー層	有 実働分	育児や介護の悩みを語り合う。
64	川崎市中原区	W.Coばんじい	はんじいひろば	交流	高齢者	地域包括支援センター・ケアマネ事務所	川崎市中原区木月3-5-22ホワイトパレス102 ふれあいデイばんじい		34,740	10,400	45,140	500,000	月1回	有料 200円	リーダー層	有 実働分	季節のカレンダー(兜・おひなさま)、歌、指体操、テーブルゲーム、フライパンで作るスタンドグラス、夏祭り、色紙で作るコスモス、運動会、折り紙でつくる富士山(お正月飾り)お正月遊び
65	川崎市中原区	W.Coばんじい	たまり場ばんじい	交流	高齢者	上平間第三町会 地域包括支援センター	貸会場(上平間第三町会会館)		322,680	144,200	466,880		月3回	有料 200円	全員が交代	有 実働分	歌、体操、脳トレ、大正琴鑑賞、カレンダーづくり・談話、トランプなど
66	川崎市宮前区	W.Coキャンディ学童クラブ どれみキッズ	みやざきだいこども食堂	食事会	誰でも		すきっぷ ドレミ園分館1F			934,278	934,278	材料費のみ 154890	月2回	有料 大人300円、子ども100円	特定メンバー	有	みんなで夕食を作り、一緒に食べる子ども食堂を開催。第2第4木曜の夕方、スタッフが集まり、食事作り。子どもたちや迎えに来た保護者なども加わりぎやかに会食。毎月のメニューを楽しみにしてくれている様子。
67	川崎市宮前区	かわさき生活クラブ 生協ふれあい広場 推進会議 (キャンディ・生活クラブ)	親子のふれあい広場・ふれあいデイ	子育て支援	親子	生活クラブ	川崎市宮前区宮崎 2-1-1生活クラブ 高津センター			54,800	54,800	材料費のみ 20,380円	親子のふれあい広場月2回、ふれあいデイ年3回	有料(親子のふれあい広場 1組200円、ふれあいデイ イベントにより平均1組300円、賛助会員は無料)	特定メンバー・リーダー層	有	高津センターを拠点に子育てしやすい環境を組合員が自ら考え、子育て中のママや子育てに関わる人の居場所づくりやたすけあいのネットワークを広げる事をめざし、地域の親子が集いコミュニケーションを図るための居場所。保育士による手作りおもちゃの紹介、パネルシアター、読み聞かせ、ふれあい遊びなど楽しい企画を用意。
68	川崎市宮前区	W.Coオプティ連主催	ふらっとカフェ	交流	誰でも		空き事務所						月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、メンバー、地域の方が交流、情報交換の場として開催 消費料の紹介や健康チェックも実施 W.Coさんさん事務所並び

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年 (助成事業)	事業高/年 (委託事業)	事業高/年 (自主事業)	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・ かかわり方	参加スタッフのワー ク代	企画内容
69	川崎市高津区	W.Coびすけっと	親子ひろば	子育て支援	親子	高津区役所地域みまもりセンター、保育所、二子こども文化センター			4,200	4,200	7,000	月1回 (前期のみ)	5回企画のうち、企画内容により3回を有料 資料代200円	全員が交代	有	「絵本の読み聞かせ」や「離乳食講座」「子どもの歯と歯みがきの話」等、テーマを決めて当保育室の保育士だけでなく、高津区役所地域みまもりセンター(保育所等・地域連携)の栄養士や歯科衛生士に講師を依頼し、10:00~11:30まで子育て相談を兼ねて親子で過ごしてもらおう。また、「幼稚園遊び・保育園遊び」や「親子でリズムミック」は参加費無料としたところ、たくさんのお申込み・参加があった。
70	川崎市幸区	W.Coメロディー	多世代の居場所メロディーココ	すべて要支援者支援事業	誰でも	川崎市幸区南幸町4-21エステート1F		100,000	4,050,000	4,150,000	5,900,000	週4日以上	有料 (ココ食堂大人300円、子ども100円、ミニ講座300円等)	半数以上のメンバーが参加	無し	ふまねっと運動、ミニ講座(手芸・料理教室・防災講座)、フリーマーケット、うたごえ喫茶、笑いヨガ、多世代のココ食堂、認知症カフェ、講演会、寄席補助金・多世代の居場所40万、居場所事業159万、子ども食堂6万
71	相模原市	W.Coペル	茶話会	交流	誰でも	相模原市南区東林間5-6-6ペル事務所			6,000	6,000	6,000	年6回	有料 1回300円	理事中心で他のメンバーも参加	1,000円/回	ハーモニカ演奏、歌、健康体操、その日の催し(例 母の日なら母の思い出を語る)
72	相模原市	W.Coはっぴー	ご近所体操はっぴー	その他(軽運動=体操・太極拳)	誰でも	相模原市緑区二本松1-17(窪の湖公園)					48,000	月2回	無料	特定メンバー	500円/回	毎月第1・第3水曜10:00~10:30 窪の湖公園で体操と太極拳を実施。
73	相模原市	橋本運営会議 (W.Coむすびって)	子育てひろば「こここ」	交流	子ども(親子)	生活リハビリクラブ橋本事務所			10,000	10,000	3,000	月1回	有料 0~400円	特定メンバー・リーダー層	無し	未就園児を遊ばせながら、子育て中のママがゆつたりのんびりした時間を過ごす。そんな中で子どもと向き合う時間を大切にしよう。
74	相模原市	W.Coあいわ	「ミモザの食卓」	交流	誰でも	家事介護W.Coあいわ事務所						月1第3土曜日	無料	リーダー層+a	無し	消費財を活用した調理提案を通しての交流企画
75	厚木市	W.Coくれよん	くれよんおやこひろば	子育て支援	子ども(親子)	厚木市飯山2120-6 くれよん保育室			400,000	400,000	638000+ スタッフ 人件費	週1回	有料 材料費がかかる場合は材料費	特定メンバー	有	ベビーマッサージ(外部講師)・おらべ歌・楽しい教室(企画物)・おしゃべりひろば 毎週木曜日につき1回づつ開催 上記3講座は10:30~だが利用者の要望を受け毎回9:30開催 お弁当持ちで13:00まで おしゃべりひろばは10:00~11:30
76	厚木市	W.Coくれよん	だがしや	小学生土曜日の居場所	子ども(親子) 小中高生	厚木市飯山2120-6 くれよん園庭中心			87,000	87,000		年数回	有料 駄菓子を原価販売、無料提供おやつ有	特定メンバー	無し	小学生を中心に地域の方や幼児が気軽に集える場をつくる。 駄菓子販売は集うきっかけとなればと始める。2時間程度開いていて、ボランティア(職員)による絵本の読み聞かせやDVDの上映、ボードゲームや囲碁・将棋盤などを用意。
77	厚木市	厚木連絡会議	土曜カフェ	交流	誰でも	みんなの手事務所			15,000	15,000	15,000	月1回	無料	リーダー層+a	無し	地域交流
78	大和市	さくらの森・親子サポートネットとW.Coわにわにの共催	わにわに食堂	食事会	子ども 小中高校生	大和市桜森3-4-1 桜森スクエアⅢ(自前)			235,834	235,834	235,834	月1回	子ども無料 大人300円	特定メンバー	無し	わにわに食堂は子ども一人でもはいれる食堂。 みんなで一緒においしいご飯を食べる食堂。 毎回「おにぎり屋さん」をして、子どもたちが自分でおいしいおにぎりを作るようになるという企画も思っている。 保育園卒園児がそのほかの小学生に声をかけて参加者が広がり、毎回70人を超える参加者がある。月1回17:00~開催。
79	大和市	さくらの森・親子サポートネットとW.Coわにわにの共催	みんなのスペース わにわに親子のひろば	子育て支援	親子	大和市桜森3-4-1 桜森スクエアⅢ(自前)			2,329,000	2,329,000	2,329,000	週3回	有料 年間登録300円 利用料200円/1回	特定メンバー	800円/h	未就学の子どもと、保護者の方の広場。子どもを連れてゆつくり、まったり、のんびりできる場所、みんなで子どもを育て合う場所を作っていきたい。開所日:月・水・金(祝日・お盆・年末年始は休み)10:00~15:00
80	海老名市	居場所を考える会(W.Coポケット)	居場所を考える会「みんなでごはん」	食事会	誰でも	W.Coどり〜む、W.Coあい、さがみ生活クラブ、海老名コモンズ、海老名ネット、WE21ジャパン海老名			65,608	65,608	27,333	年数回	有料 大人300円、小学生100円、幼児50円	特定メンバーその他	無し	場所を固定し、市の施設「ビナレッジ」で3回行った。2019年度は助成金を受けることが出来なかったが、内容としては昨年同様に行った。後半は、必ず借りられる場所で継続的に行くことを目指し準備をした。生活クラブの基金を得て、2020年度からは、海老名ネットの1Fを定期的に週1日借りることが決まった。今後はワーカースの代表者が主体となるのではなく、意志ある個人が居場所づくりに参加する方向で行うこととなった。名称も変更し「こもれびの家」として居場所を提供する。
81	座間市	NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ ぐむのき サロン・はなもも運営委員会(共催:立野台地区社協)	サロンはなもも日曜サロン	交流	誰でも	立野台地区社協			122,300	122,300	122,562	月1回 (8月・12月休み)	有料 500円	特定メンバー	無し	開催時間は、11時から14時。昼食をみんなで手芸、健康麻雀、談話に参加されている。
82	綾瀬市	W.Co カフェ・ソーレ	“みんなのたまり場”W.Coカフェ・ソーレ	交流 認知症サポート その他	誰でも	綾瀬市上土南1-8-19(自前)						年数回	無料・有料 (企画により参加費をいただく)	全員が交代	無し	壁面を絵画サークルの発表の場として提供(無料)、カフェ(有料)中心とした居場所であるため、高齢者や地域のサークルの人たちのたまり場となっている。2019年度は新たに1人暮らしの高齢者や体調を悪くした人などからの話し相手としての機会が多かった。
83	横須賀市	W.Coキッズポケット	ぼっかぼかひろば	子育て支援	親子	(N)ぼっかぼか荘 横須賀市久比里1-19-10			30,600	30,600	120,800	週1回	有料 1家族100円	特定メンバー他 団体への委託と元メンバーのボラ参加	通常ワーク代 委託者・ボラは交通費	保育室の玩具で遊ぶ、みんなで昼食。 絵本の読み聞かせ、お帰りの読み聞かせ、お帰りの読み聞かせ、お帰りの読み聞かせ 1家族で100円 経費は人件費のみ計上

No.	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
								(助成事業)	(委託事業)	(自主事業)							
84	横須賀市	W.Coキッズポケット	おもちゃのひろば	子育て支援	親子	認定(N)芸術と遊び創造協会	横須賀市久比里1-19-10			1,700	1,700	29,480	年数回	有料 1家族100円	特定メンバー	通常ワーク代	東京おもちゃ美術館を運営する(NPO)芸術と遊び創造協会推薦のおもちゃで遊ぶ。おもちゃコンサルタントのメンバーが担当している。1家族100円 経費は人件費のみ計上
85	横須賀市	W.Coキッズポケット	愛らんど久里浜	子育て支援	親子	横須賀市	横須賀市久里浜6-14-2		8,492,720		8,492,720	8,492,720	週4日以上	無料	全員が交代(常勤者1名含む)	有	9時から16時の開所時間内に自由に来て遊ぶ。相談にも対応。年1回講座実施。月1回お誕生日会とセルフハンドリフレ講座も実施。
86	横須賀市	W.Coキッズポケット	愛らんど追浜	子育て支援	親子	横須賀市	横須賀市追浜本町1-28(役所屋追浜店内)		12,413,471		12,413,471	12,413,471	年間355日	無料	全員が交代(常勤者1名含む)	有	10時から17時半の開所時間内に自由に来て遊ぶ。相談にも対応。週1回お話し会、月1回講座を実施。
87	逗子市	W.Coこだま	ご近所サロンこだま	交流	高齢者	有	貸会場(小坪大谷戸会館1200円~3000円/回)					未定	月2~3回	有料 200~700円	特定メンバー	無し	・手芸・トランプ・麻雀 ・映画鑑賞
88	逗子葉山	逗子連絡協議会	カフェ・メロディ	交流	誰でも		メロディ館		49,884	49,884	49,884	49,884	月1回	無料	リーダー層+a	無し	試食や健康チェック等
89	葉山町	W.Coのぞみ	ほのぼの倶楽部	交流	誰でも		葉山町長柄1275-1生活リハビリクラブ葉山		50,000	50,000	50,000	50,000	月1回	有料 300円	全員が交代	1,500円	4月：ハンドベルを楽しまう、5月：刺し子 6月：フラワーアレンジメント、7月：バラの折り紙 9月：新聞紙でつくる防災グッズ、10月：ハンドベルを演奏しよう 11月：クリスマス飾りづくり、12月：クリスマス会 1月：百人一首、2月：お雛様づくり 3月：コロナウイルス感染防止のため中止
90	鎌倉市	鎌倉地域協議会	みんなの市	交流	誰でも		コア北鎌倉		39,700	39,700	39,700	39,700	月1回	有料(100円)	リーダー層+a	無し	バザー、地場野菜販売、キッチン惣菜販売、美針の相談販売等
91	鎌倉市	鎌倉地域協議会	ゆうゆうカフェ	交流	誰でも		スペースゆう						毎週木曜日午後	無料	リーダー層+a	無し	居場所づくり
92	鎌倉市	W.Coどんぐり	どんぐりひろば	子育て支援	子ども(親子)		どんぐり保育室						月1回	無料(企画により材料実費)	リーダー層+a	無し	親子ひろば
93	鎌倉市	W.Coひだまり	陽だまりクラブ	交流	誰でも		コア大町						月1回	無料	リーダー層+a	無し	麻雀サロン、または外部講師等呼んだ企画
94	鎌倉市	W.Coピアノ	ピアノサロン	交流	高齢者		鎌倉市5-2-3鎌倉センター		1,621,780	1,621,780	1,468,480	1,468,480	月10回程度以上	無料	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的、企画内容により利用金額は異なる。 ※屋外は、バードウォッチングや散策等、詳しい方を講師に企画として開催している。
95	藤沢市	W.Co宙	サロンドe宙	交流	高齢者		藤沢市善行6-19-51 藤沢センター		679,440	679,440	627,379	627,379	月10回程度以上	有料	全員が交代	720円	
96	藤沢市	W.Coほっと舎アルク	交流スペースほっと舎	すべて	地域住民		藤沢市大庭5348-16 高橋ビル202		530,000	530,000	1,400,000	1,400,000	1か月24日	有料	特定メンバー	無し	こども支援と地域交流祭りは月2~3回 大人500円、子ども無料 健康体操・音楽・カラオケ等
97	藤沢市	藤沢市地域の縁側「ばらそる」運営委員会(実結)	ばらそる	交流	誰でも	生活科学運営・生活クラブ湘南・W.Co実結・W.Co花もめん・W.Coいっせ・おれんじ	藤沢市羽鳥1-1-60 ライフ&シアハクス湘南辻堂交流室						週4日以上	コーヒー100円、お茶無料	特定メンバー	1回5000円 月1回は食事を開催し、その日は1000円の活動費を実結より出す。交通費は縁側委託費より出る実費のみ	第2日曜は食事を(参加費300円) 月1回ウクレレなどの演奏、第4日曜はおしゃべり何でもできる会
98	藤沢市	(社福)いきいき福祉会	藤沢市地域ささえあいセンター かるがも	交流	誰でも	市民パートナー(ボランティア)	藤沢市城南4-9-8 ラボール城南1F	2,998,000	4,346,600	1,100,000	8,444,600	13,610,000	火~金(9:30~16:00) 週4日以上	有料	その他(常勤1名、非常勤3名)		立ち寄り無料。オープンサークル100円/時。貸館200円/時。講座等は別途設定。 地域住民同士のつながりや絆を大切にしながら人の和を広げ、お互いの暮らしを協力して支え合う仕組み。 各種サークルの自主運営、講座の開催、イベントの開催などを地域住民が主体となって実施できるためのコーディネートを行う。 またそのような活動を行っている方々が、地域の担い手として活動していけるようコーディネートしていく。 かるがも食堂は、藤沢市地域ささえあいセンターかるがもをご利用の方々が、健康的に美味しい食事を摂りながら、ゆっくりとコミュニケーションを図れることを目的に運営している。 4~7月 月金営業 12~2月 木金営業
99	藤沢市	W.Coはまゆう	地域の縁側事業(特定型)	交流	高齢者	藤沢市	藤沢センター会議室	35,000			35,000	35,000	月1回第3木曜日	無料	リーダー層+a	無し	高齢独居等の方に対する地域の居場所づくり。藤沢市の高齢者保健福祉施策。(10月から半年分の助成金)
100	藤沢市	W.Coあかい実	オープンデイ	交流	誰でも		Dayいちいの木						月1回第3日曜日	無料	リーダー層+a	無し	地域の居場所拠点やサービスの紹介を通しての地域交流
101	藤沢市	W.Coほっとすぺーす	おやこひろば	子育て支援	子ども(親子)		ひろば鶴沼						月1回第3土曜日	無料(企画により材料実費)	リーダー層+a	無し	子育て世代のたまり場企画。小さいお子さんを持つ世代の交流機会
102	藤沢市	W.Coオプティ菌	福祉相談会	その他(相談会)	その他(家族)		ひろば鶴沼						月1回	無料(企画により材料実費)	リーダー層+a	無し	ケアマネ(オプティ菌)による家族の介護等に関する相談会

	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容	
								(助成事業)	(委託事業)	(自主事業)								
103	藤沢市	藤沢地域協議会	オープンカフェ	子育て支援	子ども(親子)		コミュニティスペース(施設開設準備室)			6,000	6,000	6,000	月1、2回	無料	リーダー層+a	無し	消費材の試食やハンドマッサージによる小さいお子さん世代向けの交流企画	
104	藤沢市	藤沢地域協議会	福祉相談会	その他(相談会)	その他(家族)		コミュニティスペース(施設開設準備室)					月1回	無料	リーダー層+a	無し	ケアマネ(オブティ菌)による家族の介護等に関する相談会		
105	藤沢市	藤沢地域協議会	昼食会	食事会	誰でも		コミュニティスペース(施設開設準備室)					月1回第4日曜日	無料	リーダー層+a	無し	食事サービスがつくる昼食を食べての交流会		
106	茅ヶ崎市	W.Co一心	カフェサロン一心	交流	地域住民		茅ヶ崎市十間坂(らばれっと)					10,000	月1回	有料 100~150円	その他(役割ふり)	無し	ゲーム、体操、歌など 近所の貸家で 有料 600円/月	
107	茅ヶ崎市	ぼかぼか運営会議(W.Coのびのび)	ぼかぼかサロン	交流	高齢者		茅ヶ崎たすけあいひろば					6,000	週1回	有料 200円	特定メンバー	活動手当て(理事以外のメンバー)1,000円	高齢者サロン:体操や小物作り、歌など。お茶と手作りの和菓子付き・健康麻雀・認知症予防の体操	
108	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎として	茅ヶ崎市転倒予防教室	介護予防	高齢者		生活リハビリクラブ茅ヶ崎フロア		440,000		440,000		月1回	有料 200円	全員が交代	活動手当て(理事以外のメンバー)1,000円	転倒予防教室(茅ヶ崎市からの受託事業)	
109	茅ヶ崎市	ぼかぼか運営会議(W.Coのびのび)	ぼかぼかかふえ	交流	高齢者		茅ヶ崎たすけあいひろば						年数回	有料	全員が交代	有	健康マージャンとコグニサイズ体操 参加費500円(昼食有)、200円(昼食無し) 運営会議メンバー以外にW.Coから順に1名手伝い	
110	茅ヶ崎市	W.Coたんぼぼひろば	たんぼぼはうす	交流	誰でも		茅ヶ崎市香川3-4-5						週2回	有料	特定メンバー	ボラ交通費、ワーク代	昼食代、お茶代実費 地域のフリースペース(月・木11時~14時)	
111	茅ヶ崎市	W.Coたんぼぼひろば	たんぼぼはうす	子育て支援	小・中学生		茅ヶ崎市香川3-4-5		275,100	275,100	850,000		夏休みのみ	有料	特定メンバー	ボラ交通費、ワーク代	夏休み小学生のフリースペース(期間中数回10:30~15:00)	
112	茅ヶ崎市	W.Coたんぼぼひろば	たんぼぼカフェ	食事会	誰でも		茅ヶ崎市香川3-4-5						月1回	有料	特定メンバー	ボラ交通費、ワーク代	不登校児等テーマに沿ったお茶会月1回、 ぼぼ小学生の居場所(月1回10:30~14:00)	
113	平塚市	W.Co TOMO	TOMO日曜サロン	交流	誰でも		平塚市山下374-2(自前)						10,000	月1回(第4日曜午後)	無料	特定メンバー	担当手当てとして年間2000円/一人	平成28年6月より開始。毎月1回の開催を継続しています。 デイサービスの休日に開催し 体操、音楽(楽器演奏、歌)、ゲーム、紙芝居など地域の皆さんの特技や趣味を活かし交流を図っています。

追加調査: 空き家・空き店舗活用の居場所

関連団体・外部団体「居場所・サロン」調査のまとめ (2019年度)

2020年10月現在 参加型福祉研究センター

0	行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年		事業高/年		事業高/年		合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容
								(助成)	(助成元名)	(委託事業)	(委託元名)	(自主事業)	主な収入項目							
1	横浜市 中区	もくり運営委員会	リトルファームHOMOKUもくり	交流・畑作業	だれでも	商店会	貸家 横浜市中区本牧 溝坂169	441,083	神奈川県基金21	0		380,577	イベント参加費、利用料、レンタルスペース代、カンパ他	821,660	650,000	月2~3回	食事800円~ 講演会等は無料	全員が交代で	無し	・収穫&食事会、季節(旬)の野菜を収穫し、調理し、みんなで食事する。プロのシェフに作ってもらったり、庭の花をドライフラワーにしてリースづくりとハーブを感嘆させポプリ作りなど畑を庭を利用しての体験イベントの自主事業。 ・サバイバルクッキング-太陽光で調理。クリスマス・お正月試食会など、生活クラブ中 commonsへのレンタルスペース事業 ・フードバンクかながわと地域のみんなの食堂で活動している方の講演会(WEショップほんもくの企画)のレンタルスペース事業 ・少人数グループの体操(寝ながらやる)のレンタルスペース事業-その後みんなで昼食 ・お菓子を用意して、誰でも来て下さい「おやつタイム」一月1回最終土曜日開催(個人企画)利用料のみ
2	横浜市南 区	NPO法人おもしろいやりカンパニー	おもしろいハウス	交流	だれでも		貸家 横浜南区中村 町2-124-5	6,500,000	ヨコハマまち普請事業ほか	0		3,065,805	飲食売上、小箱利用料売上等	14,740,548	14,862,535	月~金 週5日		中心メンバー3名とボランティア	主メンバーの3人はなし。ボランティアは半日1000円をめざす。	2019年10月にオープン。ランチ提供、ママ・マルシェ(パンと野菜販売)、駄菓子、クレープ、小箱ショップ等々、通所型サービス事業、訪問型サービス事業、子ども支援として金曜日はカレーの日を開催、子どもは無料、大人は200円で提供
3	茅ヶ崎 市	フリースペースら・ばれっと	フリースペースら・ばれっと	子育て支援・交流	子ども(親子)・高齢者	NPO法人 丸Coふらねっと	貸家 茅ヶ崎市十間坂 3-10-36	380,000	かながわ生き生き市民基金	0		200,000		580,000	580,000	月2~3回	1回500円	全員が交代で	無し	ミシンカフェ、お母さんと赤ちゃんカフェ
4	平塚 市	なでしこ 放課後食堂プロジェクトチーム	なでしこ 放課後食堂プロジェクトチーム	会食(子ども食堂、会食)	子ども(親子)	平塚デポ 運営委員会	平塚市花水台36-15 花水台会館、平塚市薫平8-28 花菱		生活クラブ神奈川居福所アソシエーション支援基金、神奈川県子ども食堂支援事業協賛金、個人寄付金			なでしこ放課後食堂 子ども100円、大人300円	20万円	18万円	月1回	利用料: 子ども100円 大人300円	特定メンバー	なし	2019年11月~2月は毎月食堂を開催。コロナ感染症の影響によって、3月より急遽フードパントリーに変更。	
5	座間 市	ひだまりの家	ひだまりの家「さんさんカフェ」	交流	だれでも	座間 commons 運営委員会	貸会場								月1回	500円ランチ代	特定のメンバー		・毎月第1火曜日に500円ランチを提供する活動を「さんさんカフェ」としてスタート(本格的には9月から)。地域の中の高齢者が楽しみに来てくれるようになった。 ・コロナウイルスの影響により、4月~7月は「さんさんカフェ」を中止。8月から、まだ本格的なランチではないが、簡単なデザートと飲み物を出す形で再開した。	
6	海老名 市	こもれびの家	こもれびの家	交流	だれでも	あり	自前の会場 海老名市中新田 1-11-11													
7	伊勢原 市	ふくじゅ	ふくじゅ	交流	だれでも	伊勢原 commons、近隣 丸Coとの情報連携	自前の会場								月2~3回	利用料: 100円	代表以外の専任スタッフはいない。認知症カフェのサポーターでボランティア保険に加入していない方はふくじゅから加入費を負担。	ワーク代は無し。認知症カフェのサポーターでボランティア保険に加入していない方はふくじゅから加入費を負担。	・commons:運営委員会、(ふくじゅ見学を兼ねて)在確認。commons企画「子どもと一緒にちくちくカフェ」「ランチ会」「熊本支援バザー」「内海さんと子どもキッチン」。エッ ・commonsの運営委員が度々利用することにより、使い方に慣れていく ・「熊本の支援」 ・「内海さんと子どもキッチン」 ・「ソーラークッキング」 ・「コロナ講座「へたで染めてみよう」」「ソーラークッキング」 ・「種々の勉強会」 ・「パン教室」 ・「化学物質過敏症~いせはらCSの会」 ・「他」 ・「ふくじゅ」 ・「高次脳機能障害の会」 ・「認知症カフェ」 ・「サポーター会議、勉強会」	

2019年度 コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ

2019/8月

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容
1	横浜市 磯子区	家事介護	たすけあい 磯子	<会議>	(N)W.Co樹(アープシ)・磯子ねこの手・汐見台福祉コミュニティ・磯子区社会福祉協議会	近況報告・情報共有・磯子区社会福祉協議会からの情報			
2	横浜市 旭区	家事介護	みらい	<会議> 横浜市西部福祉ユニット	・保土ヶ谷・西コモンズ ・旭北・旭南コモンズ・瀬谷コモンズ・泉コモンズ・W.Coの9 けあいぐびい・たすけあい皆人・たすけあいせや・むすび くくSUN	地域福祉サービス提供者側とニーズ発信者側で共に考えて具体化していく活動をしている。エリア内にある特養ラポール三ツ沢を活用する方針を立て、施設見学、学習会等を行っている。組合員を対象に介護保険学習会を行い、介護保険制度を自分の事として考えるよう情報発信している	あり	横浜ユニット連絡会 横浜エリア連携協議会	横浜市との円卓会議 横浜市への政策提案
				<業務提携・委託> 横浜市地域生活支援サービス事業 (移動支援)福祉有償運送					
3	横浜市	NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ協 会	NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ協 会	<会議> ①カフェぼらん運営委員会 ②コミュニティオプティマム福祉マネジメントユニットか ながわ運営委員会	①ユニットかながわに所属している団体 ②福祉クラブ神奈川地域協議会 ③カフェぼらん運営委員会には生活クラブの理事、福祉ク ラブの理事がオブザーバー参加	・会議をカフェぼらんで開催、 ・ユニットのチラシをぼらんに置く ・カフェぼらんニュースを福祉クラブ組合員に配布 ・1周年イベントをかながわコモンズニュースに枠をつくってもらい広 報への協力を得た			
				<イベント> ①ふくし祭り ②ユニットかながわの「みんなDE祭り」 ③福祉クラブの試食会	①ユニットかながわに所属している団体 ②福祉クラブ神奈川地域協議会	6月にふくりまつりに出店、物販 12月にユニットかながわのみんなDE祭りに出店、物販			
				<ボランティア> ①カフェスタッフ ②総合事業でのボランティア	ワーカーズ・コレクティブはっぴいさんメンバーがカフェス タッフ、総合事業でのボランティア参加している		あり	横浜エリア連携協議会	
4	横浜市 緑区	家事介護	くまさん	<イベント>	個々のボランティア団体なので団体名はなし	月1回開催しているサロンでそれぞれの活動内容で参加されている			
5	横浜市 青葉区	移動	アクセス	<会議> 青葉区移動情報センター推進会議 緑区移動情報センター事業者情報交換会 青葉区自立支援協議会 青葉福祉ユニット会議 麻生養護学校放課後支援事業所等連絡会					
				<ボランティア> ガイドボランティア養成研修	青葉区移動情報センター				
6	横浜市 都筑区	施設内介 護	円	<会議> 都筑相談窓口(都筑ユニット機能あり)	都筑相談に参加している団体…生ク、福ク、キッチンこら ふ、エコ・アド、和、ふれあい都筑、れもんばーむ(6月迄)、 のはらネットワーク等				
				<イベント・フォーラム> だれでもカフェ パネル展参加…つづき人交流		都筑相談窓口では相談が全くないために、イベントを通じてと、2~ 3年前前から出前的に開催。ダブルカフェの名前を変え、3~4回/ 回イベント的に開催しているが…			
				<ボランティア>		業務委託されている関係で余り独自色出せないが、メンバーのネッ トワークでボランティアお願いしている。また、メンバーの高齢化で、 業務から卒業しボランティアを行っている。			
7	横浜市 保土ヶ谷 区	施設内生 活支援	ライフサポートW.Co むすび	<会議> ①横浜南リーダー会議 ②住まい型部門会議 ③西部ユニット ④みんなの会	生活クラブ生協・コモンズ、 W.Co連合会関連W.Co	施設見学受け入れ、「W.Co」とはのサテライト会場の提供と担当。 秋祭りの店舗、入居者の誘導等にボランティアをいただく	あり	西部ユニット、横浜エリア連 携協議会	定期的会議への参加、学習会、 フォーラムへの参加。署名活動、 アンケート協力
				<イベント> ラポール三ツ沢秋祭り 東日本大震災復興支援まつり	みんなの会、いきいき福祉会、W.CoくくSUN、住まい型部 門会議	食品の販売、会場設営、入居者の誘導、ボランティアコーディネート、 まつり運営、バザー品の回収、運搬、販売			
				<ボランティア> 学生の職場体験 地域の方々	松本中学校、保土ヶ谷中学校、三ツ沢子どもクラブ、アニマルセ レビー、みんなの会、サウンドデリバリーかのん、菊名ハイビス カス、傾聴グループ「あのね」ずんチャカバンド	職場体験説明案内、車いす清掃、縫物、草取り、入居者・利用者の 楽しめる企画(音楽、ダンス、演奏)			

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容
				<業務提携・委託> ①三ツ沢サロン(オレンジカフェ) ②技能実習生、新人職員 ③就労支援 <その他> ラポールシアター	①いきいき福祉会、W.CoくっくSUN、 ②いきいき福祉会 ③W.Co協会	①地域の方々の興味のある企画をいっしょに楽しみながら親睦(学習、脳トレ、お茶など)を深める ②W.Coについてのレクチャー ③職業訓練の場の提供			
				<会議> ラポール三ツ沢会議 <イベント> 防災訓練・オレンジサロン <ボランティア> 夏と冬の大掃除	特養ラポール三ツ沢 桜台ハイツ自治会 特養ラポール三ツ沢 特養ラポール三ツ沢 W.Coむすび	福祉施設内での食事の配膳や、食レクなどの企画など 防災についての研修や、スタンドパイプを使用しての実技、訓練 半期に一度、入居者の共有部分や居室の清掃を行う			
				<業務提携・委託> 入居者の食事の準備、片付け等、食材の搬入、分配業務	特養ラポール三ツ沢	朝・昼・晩の食事全般の準備、片付けや見守り業務、食材を各ユニットに配布			
	横浜市 金沢区	居場所・ たまり場	コンパス	<会議> まちづくり協議会	WE21ジャパン金沢・W.Coオーリーブ・生活クラブ金沢 commons・福祉クラブ生協(W.Coれもん、りぼん、ららむーぶ金沢)	会議を隔月開催 活動報告			
	横浜市 金沢区	デイ サービス	オーリーブ	<会議> ①金沢まちづくり協議会 ②居場所PJ <イベント> NOAHサロン コンサート、NOAHまつり	① W.Coコンパス、W.Coりぼん、W.Coれもん、WE21ジャパンかなざわ、W.Coららむーぶ金沢、生活クラブ金沢 commons ② W.Coコンパス、生活クラブ金沢 commons W.Coコンパス	①二カ月に1回集まり、各団体の状況報告、情報共有を行った ② 金沢区内に居場所を作ることを目的に、空き家探しを行った。会議での情報共有、チラシまきなど デイの休業日である日曜日に、W.Coコンパスが主催する地域向けの健康マージャンを行った。(使用料を徴収) 2月に地域向けサロンとしてミニ・コンサートを実施、10月に実施のNOAHまつりのバザーで、お菓子販売のブース開設			
	川崎市	食事	あいあい	<会議> 生活リハビリクラブ麻生運営会議 地域経営会議他 W.Co連合会関連会議 <イベント> 川崎ご縁楽市、麻生福祉まつり、ワイワイまつり <ボランティア> 賛助会員の受入れ インターンシップ生受け入れ 大学生の研修受け入れ <業務提携・委託> くるみの会、コロニー	生活クラブ生協・commons、W.Co W.Co連合会関連W.Co 川崎市内市民福祉事業団体 川崎市市民活動センター参加団体 麻生区内の福祉活動団体 地域とリハビリクラブ麻生関連団体 川崎市高校連合会？ 田園調布学園大学、地域包括 地域包括支援センター 居宅・訪問事業者等 会食の昼食提供	リハビリクラブ麻生運営 各種会議 活動の共有、川崎市予算要望等 展示、紹介・知り合う 社協主体とした実行委員会形式での祭 お楽しみイベント、食べ物の展示販売 調理参加、配達参加 地域を知るための配達添乗・訪問 活動紹介、添乗訪問 利用者の紹介・見守り、情報の共有	あり	市民福祉事業センター・かわさき	予算要望等
	川崎市	家事介護	ばんじい	<会議> ①川崎南部コミュニティ・オプティマム福祉マネージメントユニット会議 ②市民福祉事業センター・かわさき ③シトラス会 ④川崎市介護支援専門員連絡会・中マネット ⑤地域包括ケア連絡会議 <ボランティア> ①ふれあいデイばんじい ②地域交流活動(たまり場ばんじい・ばんじいひろば)	①生活クラブ生協、W.Co連合会、福祉クラブ生協 ②W.Co他川崎市で市民福祉事業を行っている団体 ③中原区内訪問介護事業所 ④中原区内介護支援専門員 ⑤中原区の地域包括支援センター周辺の介護保険事業所・町内会・民生委員	学習会、見学会、フォーラム	あり	W.Co連合会 生活クラブ生協 福祉クラブ生協	行政ヒアリング、集会
						①麻雀、指体操、大正琴 ②体操、話し相手、大正琴、ハンドベル			



	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容
				<業務提携・委託> 川崎市住民主体による要支援者等支援事業(たまり場ばんじい、ばんじいひろば)					
13	相模原市	家事介護	ベル	<会議> 相模原地域福祉ユニット会議	W.Coはッピー、わっか、むすびって、生活クラブ、ネットさがみはら、WE21ジャパン	月1回定例会議、情報共有、イベント企画、政策提案	あり	相模原地域福祉ユニット会	政策提案を年に1回市に提出する
				<イベント> 「わあ！ぶりーず東林間」チャリティーバザー参加	商店街	毎年11/3東林間五穀豊穡祭の中でのチャリティーバザー	あり	まちづくりユニット	予算要望等
14	相模原市	デイサービス	むすびって	<会議> 相模原ユニット会議、さがみ委託W.Co協議会、生活リハビリクラブ委託W.Co協議会	相模原市内の運動グループ、さがみエリアの生活クラブ委託W.Co、生活リハビリクラブ委託W.Co	ユニットでは情報交換、政策提案、さがみ生活クラブ委託W.Co協議会では共通の課題であるW.Coメンバー拡大、生活リハビリクラブ委託W.Co協議会では共通政策を生活クラブに提案			
				<ボランティア> 子育てひろば「ここにこ」「いきいき百歳体操」	橋本運営会議、「橋本の福祉を考える会」	子育てママの応援・交流、100歳体操の会場貸し出し			
				<業務提携・委託> 生活リハビリクラブ橋本	生活クラブさがみ	デイサービス事業の受託			
15	横須賀市	保育	ゴジママ	<会議>	W.Co風っ子mam W.Coティンクル	横須賀市内で学童保育を運営しているW.Coが集まり、年に1回情報交換をしている。	あり		
16	横須賀市	保育	風っこmam	<会議> ①学童保育交流会 ②ゆ・にっ・と横須賀	ゴジラのしっぽ、ゴジランド、ティンクル	①集まる場所を決めて全員が集まり、活動について話し合う。 ②活動の共有と地域福祉、市民計画の推進	あり	ゆ・にっ・と横須賀	横須賀市に対して「活動を通して見えた課題を市民提案として提出
17	横須賀市	保育	キッズ・ポケット	<会議> ゆ・にっ・と横須賀	(N)サポート横須賀、WE21ジャパンよこすか、W.Co風っこmam、W.Coゴジママ、湘南生活クラブ生協、よこすか commons、神奈川ネット、横須賀マイベースの会	情報共有、市民提案、学習会			
				<イベント> おもちゃのひろば	認定NPO法人 芸術と遊び創造協会	おもちゃコンサルタントが認定NPO法人、芸術遊び創造協会からおもちゃをお借りして、良いおもちゃの紹介と遊びを提供する親子で集う広場。			
				<ボランティア> 夏の市民活動・ボランティア体験2019	市民活動サポートセンター	「おもちゃのひろば」のボランティア受け入れ			
				<業務提携・委託> ぽっかぽかひろば	NPO法人ぽっかぽか荘	親子で集うひろば			
18	逗子市	家事介護	こだま	<会議> 小坪大谷戸運営協議会		小坪大谷戸会館の運営			
				<会議> 多様なサービス検討会	逗子市、社会福祉協議会(あゆむサービス)ずしっぷ、地域包括支援センター	月1回程度開催。介護保険外のサービスについての検討会			
				<イベント> ご近所サロン映画会	大谷戸運営協議会 ご近所サロン大谷戸	月1回映画会を開催			
19	逗子市 葉山町	移動	くるまやさん	<会議> 葉山インフォーマル会議	ケアフレンズ葉山、葉山高齢社会をよくする会、コミュニティケアさくらんぼ、オアシス、W.Coのぞみ、W.Coくるまやさん、葉山町社会福祉協議会、小地域福祉活動推進連絡会				
				<業務提携・委託> 訪問型サービスDとして通所型サービスB一般介護予防事業対象サロンへの送迎、葉山町高齢者等送迎サービス	なでこ・つどいの和(葉枝自治会)・きづな(下山口自治会)・上山口(上山口自治会) 葉山町				



自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	
20	葉山町	デイサービス	のぞみ	<会議> ①長柄ネットワーク会議 ②はやま防災ネットワーク会議 ③インフォーマル会議 ④葉山住民福祉センター運営委員会	①長柄町内会、老人クラブ、ミニデイサロン、民生委員、社会福祉施設 ②・葉山ボランティア連絡協議会 ケアフレンズ葉山、葉山手話サークルクローバー、(N)いつでもここで 葉山手をつなぐ育成会、ライフコミュニ葉山、葉山はばたき ③葉山町高齢化社会をよくする会、ケアフレンズ葉山、コミュニティ・ケアさくらんぼ、(N)W.Coくまやさん ④葉山町社会福祉協議会	①地域の社会資源や福祉ニーズ調査、アンケート作成 ②日頃の活動に防災の視点を、市民団体の連携による防災力向上を目指す ③情報交換 ④生活相談及び地域における自立生活の支援並びに住民主体による地域福祉活動の振興を図る			
				<イベント> W.Co説明会 ①湘南W.Coリーダ会議 ②湘南W.Co協議会 ③リハビリちゃんカフェ	①湘南地域のW.Co ②湘南地域の委託W.Co ③生活リハビリクラブ葉山運営会議 W.Coりあん	ワーカー募集 説明会			
				<ボランティア> ①南郷中学校FGO体験学習 ②夏休み福祉体験 ③定期的に来て下さる方	①南郷中学校の生徒 ②葉山町社会福祉協議会、葉山町の中学生 ③個人、サークル等	デイサービスでのボランティア体験			
				<業務提携・委託> 生活リハビリクラブ葉山	W.Coりあん	・介護計画書作成業務 ・デイサービスの昼食作り			
21	大和市	移動	キャリアジョイ	<会議> ヒューマンサポートネットワーク厚木	厚木南地域包括支援センター・社会福祉法人 藤雪会・ケアセンターあさひ・あつぎボロボ・保育園Vivi・ディルムとんとん・NPO法人 子ども未来じゅく・学童保育なないろのたね・NPO法人W.Coくれよん・多文化ともだちセンター・認定NPO法人WEジャパン厚木・W.Coあんず・福祉クラブ生協・さがみ生活クラブ生協 厚木 commons	情報交換・新人研修ツアー(各団体の見学など)・施設のお祭り、行事等への協力			
			キャリアジョイ	<業務提携・委託> ケアセンターあさひ・あつぎボロボのデイサービスでの送迎		運転手派遣			
22	大和市	移動	ケアびーくる	<会議> コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会 大和	さがみ生活クラブ生協大和 commons、さがみ生活クラブ生協、大和市民会議、NPO法人W.Co 想、企業組合 たぶの木、NPO法人W.Co ケアびーくる、NPO法人大和子どもミニデイサービスW.Coももこもこ、NPO法人WE21ジャパン大和、NPO法人さくらの森・親子サポートネット) * 南林間デポーは休会中	①参加団体による情報交換と共育を進め、それぞれの団体で情報を共有している(毎月運営委員が定例会を持つ) ②大和市に福祉政策を提案し、回答を受けて、必要に応じてそれぞれの担当課と意見交換している。(福祉政策提案チーム) ③地域協議体の設立に向け情報を共有しサービスづくりを検討している。(地域福祉チーム) ④参加型福祉をすすめるために学習会やフォーラム等を開催している。(学習会・フォーラムチーム)⑤会報を発行している。(広報チーム) ⑥団体相互の交流や活動資金づくりのために、大和市民まつりに参加している。2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため開催されなかった。(市民まつりチーム) ⑦子どもたちの食の安全の視点から、市内の学校給食の食材を考えている。	あり	大和市広報広聴課を通して市長あてに手渡しし30分ほど懇談している	
				<イベント>学習会		藤沢のシニアライフセラピー研究所所長の木村由香さんを招き学習会			
				<業務提携・業務委託>	大和市発行の「福祉利用券」「タクシー券」使用可能な団体となっている。 ◎メンバー個人契約するという形で、市内のW.Coの保育園2団体の給食の食材を、南林間デポーから各団体に配達している。				
23	大和市	保育	もりのほらっぱ	<会議> コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会大和	さがみ生活クラブ、南林間デポー-W.Co 想、大和 commons、WE21ジャパン、W.Coももこもこ、神奈川ネット、W.Coチャイルドケア	定例会で情報共有・福祉政策提案(大和市へ)・学習会、ワクワクフェスタ参加、市民まつりたご焼き販売	あり	コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会大和	高齢者障がい者福祉・環境と健康・子ども子育て支援に分かれて市長へ提案、回答をもらう
24	平塚市	家事介護	笑顔	<会議> まちづくりユニット平塚	commonsひらつか、神奈川ネットひらつか、W.Co各団体	平塚市予算要望、ユニットまつり、学習会等	あり	まちづくりユニット	予算要望等
				<イベント> 市民市バザー	「福島の親子と共に」平塚	売り上げを寄付、協力			

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容
				<業務提携・委託> 平塚市産前産後ヘルパー派遣事業	平塚市	子育て支援			
25	茅ヶ崎市	保育	たんぼひろば	<会議> ぼかぼか運営会議	W.Coのびのび・W.Coほっぺ・茅ヶ崎デポー・茅ヶ崎コムズ	みんなのひろばの運営などについて			
26	藤沢市	施設清掃	おれんじ	<会議> ばらそる運営委員会	株生活科学運営・W.Co実結・W.Co花もめん・ともだちひろば	ライフ&シニアハウス湘南辻堂内の地域交流室「ばらそる」で実施している藤沢市緑創事業の運営。居場所として週3回オープンし各団体が企画等を行っている。おれんじは月1回担当。			
27	藤沢市	配食	花もめん	<会議> ばらそる会議 <ボランティア> 地域交流会	ライフ&シニア湘南辻堂、せっけんライフプロデュースW.Coおれんじ、W.Co実結 ライフ&シニア湘南辻堂、せっけんライフプロデュースW.Coおれんじ、W.Co実結	地域交流室でのボランティア教室			
28	綾瀬市	居場所・たまり場	カフェソーレ	<会議> ヒューマンサポート・ネットワークあやせ有志会	ヒューマンサポート・ネットワークあやせ	情報共有の会議(不定期)、市長との意見交換(このところ連携団体が少なくなり「有志の会」として、ゆるやかな連携での活動となっている)	あり	ヒューマンサポート・ネットワークあやせ	2019年度は市長との意見交換(文書無し)
29	座間市	障がい者作業所	こかげ	<会議> ユニット会議	生活クラブ、座間市民ネット、W.Coたすけっと、W.Co風の子W.Coごむのき	月1回ごと会議をおこない、市民提案の作成や情報共有等			
30	横浜市 川崎市 鎌倉市	生協法人	福祉クラブ生協	<会議> 福祉クラブ生協定例理事会	W.Co協会、ステップなな、港北社協、NPO月1の会、社福ラファエル会鎌倉薫風学園、一般社団法人セレニティハウス	施設フロア清掃・配膳・食器洗浄・見守り・洗濯・レク講師、看護士業務、配達ドライバー、仕分け(別紙PDFで送付している内容)	あり	神奈川県生協連の被爆者国際署名	
				<イベント> ふくしまつり(6月)、各地域で実施しているまつり(秋)	福祉クラブ展開エリア23自治体行政区でそれぞれとなりますが、フラダンス・ダンス教室やジャグリング(大学)等の発表の場が欲しい団体に組合員のネットワークを通じて参加呼び掛けしている	まつりやイベント等でのステージイベントに参加してもらっている			
				<ボランティア>		各W.Coに取り組み方針を確認している。運営に参加される場合は基本的にW.Coメンバーへ加入してもらっている。			
				<業務提携・業務委託>	①W.Co協会カフェぼらんへの食材配達 ②バオバブ霧が丘への食材配達 ③中原区デイサービスふれあいばんじいへの昼食届け ④鎌倉市障がい者施設わんびいさんへの昼食届け ⑤藤沢市ラポール藤沢の介護予防サロン利用者の送迎 ⑥港南区放課後等デイサービス夢輪利用児童の送迎	①神奈川区W.Coこすもす ②緑区W.Co野ばら ③港北W.Coほっと ④鎌倉W.Coキッチンかまくら ⑤W.Coららむーぶ藤沢 ⑥W.Coららむーぶ港南			
31	横浜市 藤沢市	社会福祉法人	いきいき福祉会	<会議> 地域活動連携協議会	W.Co連合会/WE21ジャパン/神奈川ネットワーク運動/湘南生活クラブ生協/福祉クラブ生協/まちづくりユニット茅ヶ崎/ゆ・にっ・と横須賀/鎌倉ゆ・にっ・まちづくりユニット平塚	学習会(ゼノム等) 政策提案活動に向けた活動			
				<イベント> 東日本大震災復興支援まつり	神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会/NPO法人WE21ジャパン/神奈川ネットワーク運動/地球の木/フォーラム・アソシエ/公益財団法人 共生地域創造財団/生活クラブ新生会/さんえすクラブ/福祉クラブ生協/横浜北、横浜みなみ、かわさき、湘南、さがみ生活クラブ	①復興支援活動に関する展示 ②復興支援を目的とした模擬店 ③被災現地の被災者ならびに支援団体の展示、販売、カンパ等 ④福島原発事故ならびに脱原発に関する活動展示・アピール、カンパ等 ⑤ステージイベント等⑥その他			
				<ボランティア>	傾聴ボランティアあのお/サウンドデリバリーかのお/あらしん/菊名ハイスカス/日本動物病院協会/よるずや/絵画サロン/書道教室/パン粘土教室/ペン習字教室/入居者・利用者家族/その他個人ボランティア	傾聴/モダンバレエ/歌/踊り/三味線/マンドリン/大正琴/和太鼓/アニマルセラピー/フラダンス/縫物/習字/ペン習字/ピアノ/ギター/その他趣味活動等 ※地域の自治会へ参加し、防災協定を締結し防災訓練の共同実施、消防団活動、防災備蓄品の相互連携を行っている。			
				<業務提携・業務委託>	W.Coむすび W.CoくっくSUN	特別養護老人ホームで暮らす入居者の生活支援(掃除/洗濯/食事の準備/ボランティアコーディネート/施設行事企画等)			

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容
31	横浜市 藤沢市	社会福祉 法人	いきいき福祉会	<イベント> 地域の居場所交流会 居場所事例報告(他w.coにて)	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	事例発表 事例報告			
				<ボランティア> ユースボランティア	茅ヶ崎市民活動センター	夏休み期間中の中・高校生のボランティア の受け入れ	あり	まちづくりユニット茅ヶ崎	生活クラブ運動グループを中心に、茅ヶ崎で暮らす仲間と地域の課題を共有化し、地域に必要な発見を出し合い、当事者となって解決策を議論し、行政に課題解決へのアクションを促すなど、よりよいまちづくりに向けた活動をすすめる。

※連携無しと答えたW.Co: たすけあいせや、ハッピーママプロジェクト、樹、れいんぼう、あれんじ、Largo、ふれあい都筑(横浜市)/たすけあいまりん、川崎市民せっけんプラント(川崎市)、ピビット、どリーむ、あい(海老名市)、りあん(葉山町)

2019年度総合事業に関する調査票

送付先: W.Co連合会 事務局

送付締切: 6月10日(水)

E-mail: hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp / kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

2020年3月時点の、総合事業に関する調査にご協力下さい。

- 1) 自治体の実施の有無には、実施無(○)無し(×)の他、「検討中」などわかっていることもお書き下さい。
- 2) 自組織の実施状況については、現時点での「実施有」(○)、申請中、「実施しない」(×)、「検討中」などお書き下さい。
- 3) 運営方法については、介護保険同様等とお書き下さい。また、地域のボランティア参加等があればお書き下さい。
- 4) その他生活支援サービスについては、運営方法欄に実施している内容もご記入下さい。
- 5) 一般介護予防については、自治体によって個別の名称がついている場合があります。各自治体の名称でご記入下さい。補助を受けて行っている場合が多いと思われます。内容等できるだけ詳しくお書きください。

組織名

記入者

連絡先(☎)

自治体名	自治体実施の有無等	自組織の実施状況	登録利用者 /月	運営方法
訪問型サービス	訪問介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
	サービスD (移動支援)			
通所型サービス	通所介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
その他生活支援サービス	栄養改善			
	住民ボランティア 等が行う見守り			
	自立支援に資する 生活支援			
一般介護予防	①介護予防把握事業(訪問面接支援等)、②介護予防普及啓発事業(いこいげんき広場、介護予防各種教室、認知症予防教室等)、③地域介護予防活動支援事業(元気づくりステーション、通いの場、集いの場等)、④一般介護予防事業評価事業(ハートポイント等)、⑤地域リハビリテーション活動支援事業(サロンリハ等)があります。自組織で行っている事業についてお書きください。			
	事業名	登録利用者/月	内容	運営方法

# 2019年度居場所・サロン調査票

送付先: W.Co連合会 事務局 送付締切: 6月10日(水)  
 E-mail : hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp  
 kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

2020年3月末時点の状況をご記入ください。

- ・「居場所・サロン」という名称にこだわらず、実施されている会食会や子育て関連の親子の集い等についてもお書き下さい。
- ・「居場所・サロン」等を全く実施していない場合は、実施無しに○印、団体名、記入者名、連絡先のみ記入し、送付下さい。
- ・居場所・サロンを何カ所かで、何企画実施しているか、( )の中に数をお入れください。
- ・活動目的、対象者、連携の有無、実施場所の状況、参加スタッフのワーク代、開催頻度、参加費、スタッフの体制・関わり方の欄は、○をつけて下さい。
- ・事業情報については、以下のようにお書きください。(2019年度の実績をお書きください。)  
 ○補助金・助成金: 例えば親と子の集いのひろば事業は補助金です。どこ(自治体・団体)からいくらの補助があるのか、金額と補助元の団体名(自治体名等)をお書き下さい。  
 ●●事業と、名称がついている場合は、お手数ですがお書き下さい。  
 ○委託事業: 委託元と委託費をお書きください。「事業名」がある場合はお書き下さい。  
 ○自主事業: 補助金や助成金を受けず、参加費等だけで行っている場合の主な収入項目と概算金額。  
 ○年間経費: 家賃、光熱費、人件費含む支出概算金額
- ・実施企画が複数の場合は、企画毎に回答して下さい。

実施の有無 実施無し ・ 実施有 ( )ヶ所、( )企画

団体名( ) 記入者名( ) 連絡先: TEL

基本情報	運営主体		
	名称		
	活動目的	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的: )	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的: )
	対象者	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的: )	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的: )
	連携の有無と連携先	有・無 ( )	有・無 ( )
	実施場所(住所)		
	実施場所の状況	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的: ) 3 その他 (具体的: )	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的: ) 3 その他 (具体的: )
事業情報	①補助金・助成金(円)		
	補助・助成元		
	②委託事業(円)		
	委託元		
	③自主事業(円)		
	主な収入項目(ハザード・イベント・企画収入等)		
①~③合計(円)			
年間経費(概算:円)			
運営情報	開催頻度	1 年数回 2 月1回 3 月2~3回 4 週1回 5 週2~3回 6. 週4日以上	1 年数回 2 月1回 3 月2~3回 4 週1回 5 週2~3回 6. 週4日以上

運営情報	参加費	1 無料 2 有料 (具体的に: )	1 無料 2 有料 (具体的に: )
	スタッフの体制・ 関わり方	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に: )	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に: )
	参加スタッフの ワーク代	1 あり 具体的: 2. なし	1 あり 具体的: 2. なし
	企画内容		

## 2019年度コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査票

送付先：参加型福祉研究センター 送付締め切り： 6月 末日

E-mail：sanka-fukushi@systemken.org

F A X：045-222-8721

コミ・オブ福祉の地域連携に関して、2019年度の地域連携の内容についてお聞かせ下さい。

コミ・オブ福祉を拡げていくためには、地域内での生活クラブ運動グループをはじめ、他の団体や人々との連携が必要と考えられます。その実態を具体的に教えて下さい。

自治体名

組織名

記入者

連絡先(☎)

①地域の運動グループをはじめ、ボランティア等との連携の有無についてお答え下さい。		有 ・ 無し	
	名称	連携している団体名	具体的な（活動・連携）内容
会議での情報共有等	会議名等		
イベント等の活動連携	イベント、フォーラム等の名称		
ボランティアの受け入れと運営参加			
業務提携 業務委託			
政策提案活動を共に行う	提出（窓口）団体名		
その他	具体的に記載して下さい。		

\* ボランティア関連には、ボランティア参加・受け入れ、イベントへの講師参加、ボランティア募集・コーディネート等があります

\* 業務連携には、サロンの際の食事作り、食材配達、移動支援、サロン運営等が考えられます。

\* 業務委託には、「2018年度版報告書」でまとめたように、シニア向けマンションの居住者用食堂とレストランを業務委託、移動サービスに関する行政からの委託の事例があります。

\* 「政策提案活動」に関しては、参加した主な活動（調査、行政ヒアリング、集会、署名活動等）と主な提案事項をお書きください。提案書があれば送付をお願いします。

特定非営利活動法人参加型システム研究所

参加型福祉研究センター

〒231-0006 横浜市中区南中通 4-39 石橋ビル 4F

E-mail : [sanka-fukushi@systemken.org](mailto:sanka-fukushi@systemken.org)

URL : <http://sanka-fukushi.org/>

発行 : 2020 年 12 月 <300 部>